VOL. I. NO. I.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

アプトン・シンクレエア著
前田河廣一郎譯
（柳瀬正夢裝幀）

四六版 五五〇頁
定價金貳圓七拾錢 送料 金貳拾二錢

ジャングル

マルクス資本論の藝術家！シンクレエアの
世界的名著！資本家の新教科書出づ！

改版

燦爛として世界の大道を照らせる本書！ 翹望二十年にして邦譯漸く成る、譯者は在米十四年具に其國情に通せる新鋭の無産派作家。小説「ジャングル」の特に重視さるゝは、難解、尨大なる「資本論」の抽象的理論を、平明に且つ深酷なる興味の下に巧に具體化し、他面米國の富と惡政とに向つて決鬪の手套を投じたる點に在り。見よ！ヨウリスは醒めたり矣。巨人ヨウリスは將に動き出さうとして居る！ ヨウリスとは誰ぞ？それは「勞働者」の別名のみ。

東京市牛込區神樂町二丁目 叢文閣 振替東京四二八八九番 電話牛込二五七三番

最新刊

エミール・レーデラー教授著

理論經濟學概說

帝大助教授 有澤廣己
帝大助教授 大森義太郎
共譯

洋裝菊版
定價貳圓五拾錢

學界の權威 世界の名著

原著者レーデラー教授は、現今獨逸理論經濟學界において五指に屈せられる權威者である。本書は教授が蘊蓄を傾けた近業であつて、その內容の一端を記せば、第一章經濟理論の概念と對象、第二章經濟の基本的事實、第三章勞働價值學說、第四章限界効用學說である。特に限界効用學說の叙述に至つては恐らくその淸新さにおいて他に比を見ないであらう。教授は更に勞働價值學說をとつてこれと對立させてゐる。その兩學說の交涉を論じるところは教授の新しい試みとして學徒の等しく注意すべき點であらう。なほ、叙述の平明暢達なことは本書の一特色をなすものである。譯文の正確であつて且つ讀み易いことは、こゝに贅するまでもない。

發行所 明善社 東京市本郷區元町一丁目十七番地

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三田書房編輯

勞働関係法規

四六判並製
百六十八頁

定價金七拾錢

送料四錢

最新刊

法律は權力の表現である故に我等の周圍に攻勢される法律的束縛は知つて居かなければならぬ一つである。此書を出したのも意味そこにあるので、自分の位置の何處にあるかを知る爲め又支配權力が何處迄自分等の生活に制限を與えて居るかを知る必要がある本書は勞働者に關係した法規の全般に渉つて罘集したもので一目で解る樣に編輯されてある。——先づ本書を讀め！

東京市芝區三田一ノ二〇

三田書房

振替東京四一八一〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「大衆」 創刊號

◇創刊の辭……大山郁夫
時評
▽無産政黨に懸る一抹の疑雲……大山郁夫
▽無産政黨組織第二回懇談會……黒田壽男
◇無產階級運動の理論と實際……大山郁夫
◇我國プロレタリア運動の現段階……猪俣津南雄
勞農運動
▽勞働運動現下の重大問題……中村義明
▽國際勞働代表と全國協議會……田中良吉
▽日本農民組合と單一無產政黨……稲村隆一
◇勞働黨の教訓……山川均
◇一九〇五年のボルセヰキ新聞……
◇極東無產階級の共同戰線……安光泉
◇ブルジョア諸政黨の資本閥系統（資料）……鈴木茂三郎
◇獨立社會民主黨の危機……リープクネヒト
◇豫算の話（經濟講話）……大久保金次郎

□創刊の辭□

雑誌「大衆」は、わが國の無產大衆に對し「運動のための雑誌」を供給する任務を以て生れるものであります。

雑誌「大衆」は從つて、

第一に、嚴格に階級的立場を確守し、この立場から政治、經濟、社會上の諸問題を取扱ふ純無產階級雑誌であります。

第二に、雑誌「大衆」は、直接にわが無產階級を中心として湧き起る現實當面の諸問題に主力を注ぎます。自然、古典の解説所謂外國物の紹介に比し、當面の闘爭題目をなすところの諸問題に關する報導、批判、解剖、調査、主張等が重きを爲します。

第三に、雑誌「大衆」は、正確にして豐富な調査資料の提供に努力します。現實情勢の測定をして誤算なからしめんが爲めに、正しい戰線の確立のために。雑誌「大衆」は、階級的理論を遵守すると共に、われ等の陣營、われ等の勢力の冷靜た認識を忘れませぬ。

第四に、雑誌「大衆」は、讀者を汎く一般大衆に求めます。少數研究家の愛玩雑誌たることよりも、工場に農村に日常の闘爭をたゝかひつゝある勞働大衆の、た易い理解のうちにとけこむことの出來る智識ーその闘爭のために直ちに武器となり得る生きた智識の供給者たらんことを期します。

同時に、雑誌「大衆」は、その執筆者を、熱心な、勞農大衆の中に求めます。血と汗とを以て記された解放運動の記錄、その闘爭を通じて確信づけられた理論を特に喜ぶ。雑誌「大衆」は、大衆運動の闘士の執筆によつて彩づけられる大衆自身の雑誌です。

勞農無產　諸衆君！

諸君自身の雑誌「大衆」を愛讀し、宣傳せられよ！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

當面の問題

大山郁夫
黑田壽男

無産政黨の上に懸る一抹の疑雲

一

農民勞働黨の解散以來、所謂第二次無產政黨組織計畫が着々進捗して、今後以外の故障が突發しない限りは、それの具體化が餘り遠くない將來のこととならうとする形勢が、既に充分に萠さしてゐるやうに見える。それは、從來相當に久しい期間に亘つて偏に無產政黨組織の必要の明確なる認識の下に行動して來た我々から見て、衷心からの誠心誠意を以て歡迎すべきものであることは、言ふまでもないことである。

けれども、我々がさう言ふのも決して無條件的のものでないといふこともまた、同時に特に附け加へておく必要がある。といふのは、如何なる事情の下に於ても、この際無產政黨の出現の上にそれの未來の意義が完全に認められるには、無產階級全體の上から見て、少くともそれから生ずる利益よりも、より根本的な利益が毫も犧牲にされるやうなことがないといふことが、當然それの先決條件とされなければならないものだからである。

我々はもとより、當初から無產大衆を階級に——殊に一切の階級鬪爭は同時に政治鬪爭だといふ論據から、それを政黨に、——固く結束した組織を持たなければならないことを痛感して居たればこそ從來微力のありたけをつくしてその機運促進の企畫に乘り出してゐたものである。

けれども、我々が縱し如何に無產政黨の出現を熱望して居たにしたところで、若しそれの出現の曉に、より根本的な階級的利益が些かでも損はれてゐるかも知れないことを幾分でも危虞する根據を發見する以上は、我々がそのことの前に、多少二の足を踏む氣持に誘ひ込まれるの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、また已むを得ない成り行きであらねばならぬ。

何が無産政黨の出現といふことにまして、より根本的な階級的利益を構成するものであるかは、それに關する概括的原則を掲げるよりも、寧ろ端的に個々の場合に就いて一々具體的にそれを指示する方が、少くとも、より實際的である。そこで我國の無産階級運動の現勢の下に於てそれを求める段となると、例の資本階級側からの驀進的總攻撃に對して、無産階級側の共同戦線を嚴密に整頓し、强硬に維持し、且つ優勢に擴大することがそれだといふことに、一點の疑を容れる餘地がないのである。尤も、さういふことは何時に限らず同等の必要のあることではないかといへなくないやうでもあるが、しかし我々が特に現下の情勢に卽してそれを强調するのは、別に相當の理由があつての上のことである。卽ち、資本階級の攻勢が、近來に及んで層一層と所謂資本主義發達の最後の階段としての金融資本の支配時代の特徴を發揮するやうになり、それにつれて、政治的に、經濟的に、社會的に、乃至學術的思想にさへも、――益々露骨に、益々峻烈に、その鋭鋒を全無産階級に向けるやうになつて來たことは、後者の陣營に於て一齊に痛感されるやうになつて來てゐることである。かうした情況の下に於て、無産階級の共同戦線に增援の必要が、他の如何なることにもまして重要視されなければならなくなつたのは、當然至極のことである。それは如何にも單純極まる理論である。が、この單純極まる理論こそ、この際最も有力な理論であることを誤らないものである。

我々が久しく要望した無産政黨の出現の時期が一日も早められるであらうことは、もとより甚だ結構なことであるには相違ない。けれども、若しその出現が右の理論の蹂躪の上に條件づけられるものとするならば、それは最早それだけで、我々の期待から、可なり懸け離れたものとならなければならないのである。

二

從來の無産政黨運動に於て、初めから右の階級的共同戦線の必要の認識を具體化してゐたものは、所謂全國的單一無産政黨主義の主張であつた。尤もそれは、もつと直接的な實際問題としては、一方に於ては、幾分、地方政黨主義の傳播に對する豫防線の意味で、また他方に於ては幾分、無産政黨の小黨分立――農民黨、勞働黨といつたやうに――への傾向の危險に對する警戒網の意味で提唱されてゐた跡がなかつた譯ではないが、しかし根本的には、それは理論上、無産階級の政治行動の上に於ける共同戦線の存置の必要の明確なる認識の結晶に外ならなかつたものである。

ところが、かうした單一無産政黨主義は、現在の第二次無産政黨組織計畫の途上に於て、單に事實上の問題として一層脅威に直面してゐるばかりでなく、同時に理論上の問題としてもまた意外にも無

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

産階級の陣營そのものの內部の相當に有力な一隅から、頑強に排斥されつゝある傾向が見え始めて來たのである。無産政黨の成立の曙光を迎へようとする我々の熱情が、ともすれば或る不吉なる豫感に依つて冷却に導かれがちの傾向に陷らざるを得ないのは、實は全くそのためなのである。

我々といへども、單一無産政黨主義の主張が、現在に於て直ちに完全に實現出來ないことを知つて居る。殊に我々は、現內閣の無産政黨取締方針の下に於ては少くとも無産階級戰線の左翼に立つ或る部分が少くとも今後或る時期に亘つて、到底當來の無産政黨の陣列に加はることが出來ないであらうことを、充分に覺悟してゐる。更らにまた我々は、さうした左翼の或る部分を除外して成立する無産政黨をも、現狀の間に於て期待し得られる最大の獲物として我慢しなければならないであらうことをも、遺憾ながら明白に認めて居る。それにしても我々が今日尙ほ、理論としての單一無産政黨主義を棄てることが出來ないでゐるのは、それが當來の無産政黨に於て一の理想として忠實に固守されると否とは、無産階級運動の前途の進展の上に重大なる關係のあるべきものであることを確信するが故である。

當來の無産政黨が縱し直ちに單一無産主義を完全に具體化することが出來ないにもせよ、苟しくもそれがその主張を忠實に固守し續ける以上は、それは階級的共同戰線の維持の必要の認識に立脚してゐるものを見ることが出來る。だとすると、その場合に於ても、その無産政黨と、それの列外に取り殘されてゐる左翼分子との間に於ける、階級的共同目的を意識しての協力が、場合々々の必要に應じて比較的容易に行はれ得る可能性が持續される譯である。が、若しそれに反して、當來の無産政黨が、單一無産政黨主義の絕對的排斥に依つてさうした協力の必要の否定を表明するときには、それは必然的に無産階級の共同戰線の上に、救ふべからざるギャップを故意に作るといつたやうな結果を招來することになるべきものである。しかも我國の無産階級運動の四圍の情況から見て、さうしたことが全無産階級の利益の一點から許されていい筈のものではないのである。

三

更らにまた、無産階級の陣營內に於ける樣々の政見上の相異及び衝突は無産階級の內部に於て調節され、解決されなければならない、といふことが、無産階級運動の理論の上に於て、一の主要原則とされなければならないものであるにも拘らず、理論上の問題として單一無産政黨を否定する人々はその點を頭から無視して掛つてゐるのである。幾つもの無産政黨が出來たところで、その間に於ける永續的聯合關係、若しくは時々の問題に依る臨時的提携關係の成立が不可能な譯でないから、といふ理由で、單一無産政黨主義に反對しようとする彼等の言い分は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

最も善く見ても、底の見え透いた一種の詭辯である。卽ちそれは、まづ第一に、幾つもの無產政黨の成立の可能な狀態を豫想した上で始めて言ひ得られることであるが、さうしたことは、現在に於ては全然問題にならない。だが、縱しさうしたことの可能がすべて豫想され得る場合にもせよ、苟くも資本階級の全力的攻勢の鋭鋒が幾分なりと鈍ぶつて來い限りは單一無產政黨の存立が多數の無產政黨の分立の狀態よりも望ましいものとされる理由が消失するやうになる氣遣ひはないのである。

最後に理論上無產政黨主義に反對してゐる人々も事實上に於ては、左翼側の一部を除外した單一無產政黨の組織に努力してゐると言つたやうな自家撞着を平氣でやつてゐるのである。少くとも彼等が地方政黨主義とか、小黨分立主義とかを支持しない限りは、彼等はその動機に於ては兎も角、その結果に於ては、意識的にか、無意識的にか、てツきり、さらして居るものだといふことが出來るのである

いづれにしても彼等は、當來の無產政黨に參加することさへ許されない左翼側の一部が、自ら單獨に政黨を組織することなどは、尙ほ更ら及びもつかないことだといふことを、百も承知してゐる筈である。しかも、それは必ずしも、その左翼側の一部の主義綱領の間違つてゐるためだとは、無產階級的見地からは言ひ得られないことだといふことをも、彼等が充分に知り拔いてゐる筈のことである。それにも拘らず。彼等は、――若しくは彼等の或るものは、――左翼側の一部に向つて、單一無產政黨主義などと言はずに自分達自身の政黨を作れ、と呼び掛けるやうな皮肉な態度に出てゐるのである。剩さへ彼等は、時としてはその理由として、彼等が共產系分子と同行することを欲しないといふやうなことをすら、憶面もなく言ひ觸らしてゐるのである。我々は、我國に共產主義的思想傾向のある人々の幾らかはあることを知つてゐるが。しかし治安維持法の布かれてある我國に共產黨の存立が默認されあることを、曾て聞いたことがない。それにも拘らず、官憲からとか、公衆からとかいふならまだしも、同じ無產階級の陣營の一部から他の一部に向つて、『共產黨』とか、『共產系』とかの罪名が、無制限に浴びせかけられてゐるのが聞かれることがある。かうなると問題は階級道德の一點に歸着するのである。ところが、不思議にも我々は階級道德を最も多く口にするグループの間から、かうした階級道德蹂躪の實例を示されるのを見る不幸から自由になることが出來ないでゐるのである。

我々は、誠實なる動機から、第二次無產政黨組織計畫に骨身を惜まず盡瘁してゐる人々に向つて、彼等がかうした諸點に飽くまで注意することに依つて、その上に懸る一抹の疑雲を排除し、同時に當來の無產政黨を光輝あるものに仕立てあげることに努力するのであらうことを切望してやまないものである。(大山郁夫)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産政黨組織準備

第二回懇談會

一

農民勞働黨の禁止に對する支配階級への最適の抗爭方法の意味も含まれて、勞農無産大衆の熱烈な支持の下に再起した第二次無産政黨組織運動の第二回準備懇談會は、二月十三日、東京で開かれた。この懇談會は、全國的單一無産政黨主義に基づく組織運動の前途に重大な分岐點を作るものと見られ、單一政黨の成立を熱望するものゝ側からは、この懇談會の第一の任務は、無産政黨の第一次組織運動の當初から單一政黨主義の運動を惱ましつゝある地方政黨主義を壓倒して、大衆の期待する單一政黨運動のために、前途の確實性を示すまでにこぎつけることにあると見られてゐた。

官憲の不當な壓迫にも劣らぬ實質的の障害をなしてゐた無産階級陣營内の不統一は、第二次單一政黨組織運動の出發に際しても、決して除かれてはゐなかつた。第二回懇談會を前にして單一政黨組織運動について著しく悲觀論が唱へられたのは、決して、再起無産政黨は再び禁止されるであらうといふ對官憲の關係から起つたものではなく(此點については、組織運動の參加者は賢明な對策を持つてゐる)左翼に對する極端な排擊にともなう地方政黨主義の別個の運動の暗流の存在から起つたものであつた。(第二回懇談會の直前に、單一無産政黨の出現を希願ふは痴人の夢だとの說が、公然と、某團體の幹部によつて唱へられてゐた。)たま〳〵懇談會を前にして獨立勞働協會の出現したこと、この協會が、新聞派の傳ふる所によると、その成立の過程に於て總同盟の幹部の關係してゐたこと、また、この協會が地方政黨主義をとる點に於て總同盟と主張を同じふすると報ぜられたこと、創立に參劃した某氏が、此協會の政黨への發展を思はせる意見をのべたこと等は、一層、人々をして、懇談會の前途に不安の念を懷かしめたのであつた。

われ等の運動の挫折の跡を顧みて、その原因が、反對階級との勢力關係、策戰關係に存してゐると同時に、それ以上に、ヨリ多く味方の陣營内に於ける仲間割れが因をなしたのを見た時、そして、その仲間割れを反對階級が巧みに逆用したのを見た時、敗戰に對する恨みは一層大きいのである。農民勞働黨は結黨間際に於ける總同盟の脫退—我等の陣營内には斯うした不統一があつた。再起單一無産政黨組織運動に參加協力するものは、現實の問題として、かゝる失敗のにがい經驗を考慮のうちに入れて愼重に運動を進めなければならぬ。この不統一を克服し得た時、少くとも克服し得らるゝ可能性に對する自信をつかみ得た時、現實運動としての單一無産政黨組織運動は、初めて確乎たる步調を以て堂々と進出し得られるのである。幸ひに、第二回懇談會は、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

參加團體代表者の異常な努力によつて單一政黨運動の前途に一道の光明をかざしながら無事に閉されたこれは、單一政黨主義が、惡夢の如く之につきまとつてゐた地方政黨主義運動の暗流を克服し壓倒し得る可能性がみえたことを意味するものでなくてはならぬ。總同盟の出席代表は、「總同盟が、世間で言はれてゐる如く他の團體と策應して別個の運動を起す等といふ事はない。」と聲明して總同盟も、やがて正式に單一政黨運動の傘下に參ずるであらうことを示した。正式に單一無産政黨―共同戰線體―に參加することは、總同盟が、その特殊の利害關係を無産階級の全利害關係の前に讓歩せしめることを意味するものでなければならぬ。然らざれば、「異れる潮流」の存在のために「自信を失つて」、最後の場所で再び脫退しなければならぬやも測られぬから。

二

第二回無産政黨懇談會は、單一政黨組

◇勞働者『だいぶ、つかれて來た…………
この手を引けば　日比谷座が…………
ブルジョア議會が…………
引くも引かぬも勝手次第…………。』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

織運動の前途に光明を掲げた點に於て、特記すべき收獲をおさめたと同時に、注目すべき二つの出來事をわれ等の前にもたらした。第一は、所謂秘密の申合せなるものであり、第二は、安部、賀川、堀江、高野の四氏を、來る三月初旬に開かるべき創立委員に加へるといふ決議をなしたことである。

後者については、私は今茲に發言を差ひかへたい。第一に、如何なる理由で個人としてのみの資格しか持たぬ人を參加せしめるのであるか、また、その個人を、如何なる理由によつてこの四氏に求めたのであるか、私は是等については、今、何等の智識をもたぬし、又、四氏が、その推擧に應ぜられるか否かも分明してゐない時であるから。たゞ、四氏の中に、無產政黨運動の狹義での實際運動に殆んど關係を持たれなかつた人もあるのに、この人々が突如として創立委員中に加へられることが決議されたのは、いさゝか意外の感を多くの人々に與へたであらうことを思ふのみである。

前者については、私は、眞面目に考へてみたい。

再起無產政黨組織運動が、さきに農民勞働黨禁止の理由をなした所のものについて愼重な考慮をめぐらすのは極めて當然のことである。對官憲の問題は、現在の實情の下に於ては、單一無產政黨運動が、その出發と同時に解決しておかねばならぬものである。

對政府關係の意味に於ての左翼參加問題については、第一に黨の成立に關し、第二には黨の存價に關して考へられる。

しかし、既に日本勞働組合評議會が、懇談會の最初に於て、自ら參加を辭退したことによつて、黨の成立過程に共產主義的分子を含むからといふが如き政府の攻擊は既に避け得られたわけである。更にその存續について考へるに、官憲の逆襲を避けるための左翼拒絕は、最低限度に於て行はるべきものであると思ふ。單一無產政黨內に於ける左翼分子存在の忌避は、對政府關係に於てのみ考へるべきであつて共同戰線の確立のためには可及的讓步を否まなかつた點に於て寧ろ最右翼以上であつたところの左翼については、運動の過去の經驗からするも、此關係以外の立場から之が排斥を企つべきではなからう。況んや、ある特定の團體がある他の特定の團體の排斥を欲する意味を含む對左翼問題と之とを決して混同してはならぬ。此差別は、特に冷靜に、嚴正に峻別さるべきである。斯うした考へから、私は所謂「秘密の申合せ」なるものの內容について論及してみたい。

所謂「秘密の申合せ」なるものの內容は、無論、これに關係された人々の外に之を知る由もない。しかし、それが左翼の參加拒絕の內容をもつてゐることは、都下の各新聞紙が一齊に報導した所に由つて明かである。

次に問題となるのは、左翼拒絕の範圍如何である。先づ、それが、或る特定の團體についてその組成員の全部を拒絕する

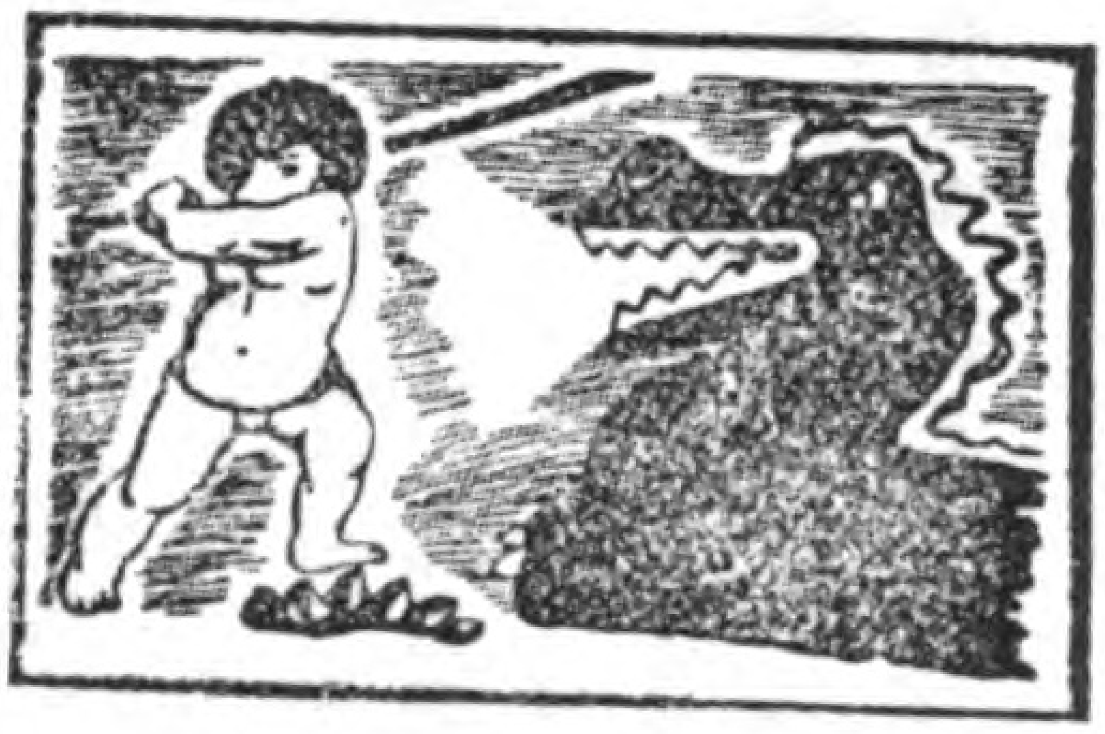
ことであるとは、苟も普通の常識を具へたものには到底考へ得られない。(然し、其の團體の其幹部は、斯樣な主張と要求とをもつてゐたそうである。) 何となれば、成立する黨は全國的、(共同戰線的政黨であつて、地方的、特殊的政黨ではないから、そして又現存の如何なる左翼團體も、大衆團體ならざるものはないのであるから。我等の考へでは、單一政黨の成立と存續とについて對政府關係からのみ考慮さるべき左翼拒絶問題は政黨の成立に於て之を困難ならしめるが如き個人に、その參加を差控へて貰ふといふ程度で充分であらうと思ふ。夫等の人々は、自ら賢明に出所進退を決するであらうが然らざる場合ありとするも、其際之が對策は充分に考へ得られないこともあるまい。無產階級の陣營の側からは、その團體の色彩如何に拘らず、一人でもヨリ多く來り投ぜんことを希願ふべきが單一政黨本來の面目である。特定の團體の組成員については、一人でもヨリ多く除かんことを考へしめる餘地の存するが如き方法は努めて避くべきであらう。此意味に於て、左翼參加乃至入黨の問題は、これを個人的に取扱ふべきであつて、團體的に取扱ふべきではない。從つて左翼問題に關する申合せの如きは假令、團體的排斥の意味に非らずとするも、團體名を列擧することは適正な方法とは言はれまい。特定の團體名を列擧することは、列擧せられた團體を不當に傷づけるおそれがある。列擧せられた團體に對する逆宣傳に材料を供給する危險がある。更に最も惡しき點は、これによつて將來に禍根をのこすおそれがあることである。私は、各參加團體代表者が、單一無產政黨の本質に鑑みて此點については、特に、公正愼重な方法を採ばれたであらうことを確く信じたのである。不幸にして、列擧的であつたとするならば、斯樣な方法をとつたことが斷じて將來に禍根をのこさぬ樣適當にこの申合せを處置せられんことを特に參加代表者諸氏に訴へたいのである。

最後に、秘密の申合せをなしたことそれ自身について考へてみたい。

この懇談會が、たとへその名の示す如く單なる懇談會であつたとはいへ、それが公の會合であり、出席者も夫々の團體の代表者として出席したものであり、殊に、この運動が無產階級運動であること等に鑑みて、今回の如く秘密の申合せがなされることは、一般會員に及ぼす影響の上からも果して適當な方法であつたか否か眞劍に顧慮したいと思ふのである。

われ等は無產階級組織運動の過程に於て、參加各團體間に複雜微妙な關係の伏在してゐることを充分に察知することが出來る。しかし「政治の公明」は、無產階級運動の掲げる標語である。「現在の程度では、まだ仕方がないのだ」といふことが、なくてもよい策謀の遁辭とならぬ樣、參加代表者諸氏が充分に警戒されてゐることを確信したいのである。(黑田)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



無產階級運動の理論と實際

＝雜誌『大衆』の創刊に際して＝

大山郁夫

曾て數年前に、私は故シュモラー教授の『ドイツの政治の二十年』を讀んでゐた際に、その書中の或る箇所へ來て、『……若し彼（マルクス）が學者になつてゐて、生涯轉々として亡命の途上にさすらひつつ、生計のために苦鬪を續けたジャーナリスト（！）として終始したのでなかつたならば、彼は夙に一八四〇――一八六〇年代に於て、ランケや、ツェラーや、及びその他の諸家と同樣に、ヘーゲル主義の偏僻を脫却したことであつたらうに。……』（一二七ページ）とあつた文句を見出して、何となくそれに私の注意をひき寄せられたのを感じた。そして私は、本篇を起稿すべく用意に取り掛つた時、ふとそのことを思ひ出して、早速それを讀みかへして見たのであつた。

それは決して、その記述の裡に何か特別の重要意義が含まれてあつたためではなく、寧ろただその中の、『若し彼が學者となつてゐて、云々』の表現の行間に於て、そこに現はれてゐた同情的語句の外皮に包まれながら、筆者のブルジョア學者としての一種の抑へ難き矜持が明かに讀み取られたやうに、私に感じられたからのことに外ならなかつた。

だが、ベルリン大學の一講座の上に於て、世界の各國から集まつて來た多數の學徒の渇仰の標的となつて半生を送つたこの老教授の名と業績とが、少くとも一般的には段々と忘却に委ねられようとしてゐる今日に於て彼に依つて『生涯轉々として亡

命の途上にさすらひつつ生計のために苦鬪したジャーナリスト』と形容された陋巷の一革命理論家が後世へ貽した學說の勢力の急激なる躍進の盛況はどうであるか！　それを考へると、學術思想の世界に於ても榮枯盛衰の移り易いことは、一般世間と一向に變りはないのである。そこでも、『時』が最後の審判者である。彼は終極に於て、亡び行くものと、殘るものとを篩ひ分け、且つ整理する。言ふまでもなく、マルクスの名聲が大に宣傳されるやうになつたのは、彼の死後凡そ十年以來――殊に『資本論』の第三卷が出版された一八九四年以來――のことであつたから、それはシュモラー教授が尙ほ働き盛りでゐた頃からのことであつたには相違ないが、しかし教授の死後――殊に世界大戰終熄後――に及んではマルキシズムの勢力は、最早文字通りに全世界的のものになつて來たものであることは、改めて言ふまでもないことである。そして遙か離れた我國に於てさへも、今日ではマルキシズムといふ言葉が完全に、少くとも學術思想界に於ける或る最も有力なる流れを指す一の代表語と見られるやうになり、從つてその方面に於ける最大の注意の焦點にされるやうにまでなつて來てゐるのである。無論、それに對する批難攻撃の聲もまた、近來未曾有の辛辣味を帶びて來てゐることは事實であるが、しかしさういふ狀勢が生じたのは、却てマルキシズムの不可抗的傳播に對する反動としてしか見られないものであることは、言ふだけ野暮であらう。

我々は今、未だ曾て經驗しなかつた程度に激烈なる階級戰の渦中に卷き込まれてゐる。と同時に我々はまた、そのことの當然の結果として、近來急激に白熱化しつつある思想戰の陣列の中に立たされてゐる我々自身を發見する。思想や學術が生活から分離して存立し得た時代は、すでに過ぎ去つた昔のこととなつた。今日に於ては少くとも活きた思想や學術は、現實に生活の戰ひを戰はねばならなくなつて來てゐるのである。カウツキーが、その『倫理と唯物史觀』の中に於て『社會主義に於ては研究者は常にまた鬪士だ』（一四一ページ）と言つて居るのは、或る意味に於て――寧ろ彼が企てなかつた意味に於て眞である。卽ち彼は、それに近接した部分に於て、本文の筆者が日頃から唱へてゐる『科學の現實性』といつたやうな――若しくは別の方面ではデボリンらの所謂『理論と實行との辯證法的統一』ともいつたやうな――主張とは全然反對に見える立場から、『科學は常て「必然」なるものの認識を以て終始する』と說明することに依つて、一方に於ては折角、研究者と鬪士とは一つだと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一重要點を指摘しておきながら、他方に於てはまた、研究と鬪爭とを別々に引離して考へて居るやうな行方を示してゐるが、若しそれが彼の眞意だとすると、それは一片の凡俗解釋にすぎないものである。我々は寧ろ、『階級戰に於ては研究そのものもまた鬪爭だ』といふ立場から、『研究者も常にまた鬪士である』ことを認めるものである。

ブルジョアジーは無產階級に向つて、單に言論思想並に學術上の研究及び發表に對する差別待遇を意味する法律とその執行機關とを以て、猛烈に挑戰して來たのみたらず、同時にまた、その頤使の下にあるところの、意識せる、若しくは、意識せざる、多くの御用學者及び論客の群れを使嗾して、マルキシズムの正系及び傍系に向つて、考へ得られる限りの論據からの批難攻擊、讒誣、中傷、排斥の手を試みしめてゐる。

それらの意識せる、若しくは意識せざる、多くの御用學者論客の群れは、一齊に全力を傾けて、マルキシズムの陣營に向つて突貫して來る。しかも彼等は大抵の場合、故意の曲解から出發して惡辣なる攻擊に出るのでなければ、淺薄なる理解に依つて知つたか振りの橫槍を入れる位が關の山であるから、彼等の襲擊が愈々繁くして、マルキシズムの陣容が益々堅固に殘り、更にまだそれに來り投ずる追隨者の數があとからあとからと增加する、といつたやうな皮肉な狀勢さへ現はれてゐるのである。さうなると、彼等は言論戰では到底その功を收め難いことを知つて、新たに支配階級を促して、言論思想並に學術上の研究及び發表に對する權力に依る壓迫を無際限に加重せしめる外に、何等の施すべき策を知らなくなつて來るのである。さうしたことが所謂『立憲治下の自由』の本來の精神に違反するか否かは、彼等の顧みるところではないのである。かうした關係から、我國に於ても、——といふより寧ろ我國に於て特に、——無產階級の分野に於ける言論思想並に學術上の研究及び發表の上に加へられる權力の壓迫が、近來に及んで急に加速度的に狂暴化しかけて來たのである。それはしかし、支配階級側の言論思想の說得力の衰退の不可抗的傾向を事實的に證明してゐるものに外ならないものであるから、無產階級がその脅威の前に辟易したり絕望したりする理由は毛頭存してゐないのである。

支配階級の附屬集團としての學者論客の群れから來る論難攻擊が、主としてマルキシズムの上に集中されてる趣きがあるの

は、言ふまでもなく、現代に於て如何なる程度に於ても有力と言はれ得る限りの無産階級運動の理論の凡ての流れの源泉がそこに潜在してゐるからである。即ちそれは、誰れもが知つてゐる通りに、所謂唯物的辯證法に依つて、生産力の進化を基點として、その上に社會進化の諸法則を展開せしめつつ、資本主義から社會主義への推移の必然性を闡明し、同時にその過渡的段階に於ける無産階級の人類史的使命を、科學的に不可抗の論理を以て確立してゐるのである。この點に於てそれは、他の何物にもまして、無産階級運動の必要に適應するための、最も根本的な諸條件を具備してゐるものである。

のみならず、それは實際上に於ても、無産階級運動の理論的基礎として、事實上異常の効果を擧げて來たものである。無産階級の解放が、官僚の恩情に基礎づけられた善政や、善意の人生改良家連の純眞な努力から期待し得られないものであることは、歴史的に完全に證明された。更らにまた、支配階級側から與へられる各種の社會觀念や、歴史法則や、人生解釋や、乃至文化理想が、無産階級に對しては、單純に魔睡劑的効果しか持たないものであることもまた、無際限に反復された經驗に依つて教へられた事實である。その間に在つて、唯ひとりマルキシズムのみが、無産階級運動の上に於て幾多の試練に最後まで堪へて來て、それのための唯一の永續的効果のある理論としての地位を確立して來たものである。

けれども、マルキシズムが無産階級運動の理論として永續的効果を擧げて來もしたし、また現に擧げても居るのは、その根本に於ては、それが無産階級運動の必要に適應するための諸條件を具備してゐるためからでなくて、寧ろそれが社會的諸關係の現實相を的確に表現することに依つて、無産階級運動の理論に科學的根據を與へてゐるからである。崩壞しかかつてゐる社會的諸關係の現實相の陰蔽に依つてのみ、僅かにその傳統的地位の餘命を維持し、ゐる既成勢力としての支配階級とは異つてさうした社會的諸關係の現實相の發露からその最後の衝撃を受けて起つた新興勢力としての無産階級が、その階級的解放運動の理論に於て科學的根據を要求するのは、當然のことである。この意味に於て我々は、『唯物主義及びマルキシズムは、それが實用性及び普遍的妥當性を有するが故に、乃至、それが無産階級の社會構成上の經驗を表現するが故に、眞理だといふ譯ではなくて、寧ろそれが客觀的眞理を表現するが故に、實用性及び普遍的妥當性を有する（等、等）のだ』と述べてゐるデボリンの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

言葉(『戰鬪的唯物主義』二〇ページ)の如きものを、無留保的に支持することが出來るのである。

理論なき行動は盲目的であり、行動なき理論は空虚である。理論の行動に對する根本的重要意義を無視するのは、素樸なる經驗主義者乃至淺薄なる客觀主義者らの僻見にすぎないものであることは、無產階級運動に於て幾多の熾烈なる試錬を經て來た最も有力なる實際家たちが齊しく認めてゐることである。と同時に、前に述べた理由に依つて、無產階級運動の理論は、必然的に社會的諸關係の現實の認識から出發したものでなければならないが、更らにそれと共に、その理論はまた行動を經て新しき現實を社會關係の上に展開せしめる効果の伴ふものでなければならない。かくて現實から理論へ、そして理論から現實への不斷の轉換が行はれて、そこに例の『理論と實際との辯證法的統一』が維持されるのである。

かうした關係に於て、マルキシズムは、無產階級運動の理論としての生命を把握して居るものである。そしてそれは、根本的には無產階級運動全體の科學的根據を構成してゐるものであると同時に、更らにまだそのことの理由に依つて、個々の特殊的場合の行動の理論の基礎をも構成してゐるものである。ところで、マルキシズムは、無產階級運動の全體の理論の科學的根據としては、根本的に正しいものであることが事實上に證明されてゐるものだとはいひ條、それが對象としてゐる社會的諸關係は單に不斷の展開を續けてゐるものであるから、それの理論もまた、苟しくもそれがその現實性を失つてならない限りは、それに應じて先きへ先きへと展開せしめられて行かなければならないのである。最近に於ける後期マルキシストともいふべき一派の人々の手に依る金融資本の科學的解剖とか、帝國主義理論の構成とかなどは、まさにその適例である。けれども、さうした一般的意味の社會的諸關係の上に現はれる推移よりも、個々の特殊的場合の行動の對象としての社會的諸關係上に起る變動は少くとも常規的狀態の下に於ては、一層頻繁であり、一層目まぐるしいものであるから、從つて、さうした個々の特殊的場合の行動の理論は、一般的理論にもまして、幾倍も敏活にその對象の移動に適合せしめられつつ展開し行かなければならない必要が生じて來るのである。

如何なる場合に於ても、理論の最後の審判者は行動である。それ故に、理論がその現實性を失はないためには、それは絕えずそれの具體化である行動に依つて試驗され、且つその結果に應じて絕えず訂正されつつ、更らにその次の行動の上に移し入れられなければならないのである。この意味に於て、無產階級運動に於ては、行動が客觀的眞理の認識と同程度に重要だとい

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふよりは、寧ろそれの不可分的一部をなしてゐるものだといはなければならないものである。ブルジアジーの理論に於ては、認識と批判と行動とは常に嚴格に區別すべきものとして說明されてゐるが、それは無産階級には通用しない議論である。

しかしながら、無産階級運動の理論に於ける現實性の必要を主張する見解は、屢々凡俗的現實主義に墮する端緒となることがある。が、我々はその危險に對して、極度に警戒しなければならない。所謂凡俗的現實主義とは、與へられたる現實の不可抗性の認識の下に、それに妥協し盲從しようとする態度を肯定する見解をさして言ふのである。それは、マルキシズムに於ける『必然』の强調のうちから、一種の宿命觀若しくは自然放任主義の辯護論を操り出して來るやうな行き方と、まさしく共通の基礎の上におかれてゐるものである。唯物的辯證法の正しき解釋からは、さうしたことを許す理論が生じて來る筈がないことは、既に決定的に論證されてゐることである。ところが理論上の問題としては兎も角、實際上のそれとしては、無産階級運動の上に於て、さうした見解を行動の指導原理として、當面の安易を貪らうとするものが絕えず輩出してゐることは、我々が日常の觀察に依つて熟知してゐる一の憂ふべき現象である。我々は無産階級運動の理論の現實性の正しき見解によつて、極力それを排撃する。

無産階級運動の理論に向つて放たれる支配階級側からの批難攻撃に對しては、我々はもとより毫もそれを恐れる必要はない否、それが激烈になればなるほど、それだけ多く無産階級運動の理論の有效性の增進が證明されたものとして、我々は一種の滿足を以てそれを迎へることとすら出來る。けれども、無産階級側に於ける誤れる現實主義の橫行は、獅子身中の蟲として、我々は極力それの驅除に努めなければならぬ。しかもそれがためには、我々は先づ、無産階級運動の理論と實際との統一性關係の正しき理解から出發することを最大急務とする。

理論と實行との間に於けるさうした相關性に關する明確なる理解を深め、進め、擴めて行くことに依つて無産階級運動に奉仕しようとするところに、雜誌『大衆』の使命がある。そして、この使命が無産大衆の援護と支持とに依つて最も有力に達成されるであらうとが、我々同人の衷心の願ひである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

我國プロレタリア運動の現段楷

猪俣津南雄

吾が無產階級運動は、いま、重大な轉期に立つてゐる。首尾よくそれを通過することに依つて無產階級は、その社會的重要性を倍加するであらう。が、しかし、此の轉期を孕んだ情勢は、實に、異常な努力を全階級に要求する。我國の社會運動が、今日、甚だ多事であり、多難であり、そして極めて多望であるのは此故である。

一　草創期

大正十四年末に至つて二十四萬に達した所の、我國の組織勞働者の殆どすべては、最近五六年間の短日月の運動が生み出したものである。それは文字通りに自然發生的な運動であつた。指導分子が工場へ働きかけずして、工場が彼等を呼び立てた。彼等の思考や行動も、從つてまた、盲索でなければ模倣であつた。宣言や決議や演説の形をとつた無產階級的言辭と、工場の大衆を支配する半封建的思想との間には、驚くべき間隔があつた。が、かゝる亂脈の半面の實は、勃興期に特有な、戰鬪的少數の雄飛であり、全運動に溢るゝ殆ど狂的な活力でもあつた。かくして今ま吾々は、二十四萬の組合勞働を見、其の一角には既に國際的團結の必要の認識と其の實現の努力とにまで到達した最高水準の集團を見かけると同時に、其の遙か後方には未だ勞働組合の價値にすら眼を開かない廣大鈍重な大衆を見るのである。

が、經驗は教へ、鬪爭は生む。段楷は常に高まらねばならぬ。組織されたる大衆の形成は、形成までの過程を否定する。それと同時に新らたなる過程が始まる——新らしき目標に向つての、ヨリ意識的な、能動的、計畫的な、過程が。で、わが無產

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

階級は、それ自身の生長によつて、今や、强き轉期の衝動に驅られるのである。

二　組織と實力

草創期の混亂の痕を最も露骨に見せつけるのは、現在の吾が組織勞働の無組織であり、無力である。二十四萬は決して少數とは言へぬ。が、此の二十四萬の勞働者は、いま、すべて十八箇の聯合體と百〇八箇の單獨組合とに分割されてゐるのである。從つて一聯合體の平均組合員數は八千に足らず、一單獨組合のそれは八百に過ぎない。その上にそれらの團體の多數は、お互に、多かれ少なかれ競爭的な立場にあり、金屬工の如きは實に三十以上の異れる聯合體及び單獨組合に分屬するの實狀にある。對立關係の典型としては何人も先づ勞働總同盟と組合評議會とのそれを想ふであらうが、一方が纖維、金屬、化學、其他の九部門に組合員を有する時、他方もまた同一九部門に組合員と有つといふのでは、組織運動の一點だけから見ても正に共殺的である。加ふるに各聯合體の內部的構成もまた無雜を極め、産業別的な整理はおろか、その加盟團體には未だ多くの謂はゆる合同組合がある。

重ねて言ふ。二十四萬人は、それ自身、決して少數ではない。が、しかし、此の二十四萬人は、我國の都市賃銀勞働者總數四百三十四萬八千餘人に對比すれば、五分五厘にも充たぬのである。之れをば英國に於ける四割乃至は獨逸に於ける五割に比較する者は、我國の組合運動に課せられた當面任務の性質の少なくとも一半は解するであらう。もつとも、右の總數には、女子勞働者、商業勞働者、等、本來組織率の低くかるべき者が多數に含まれてゐる。そこで假りに總數の四割だけが組織し得べきものと見るならば、百七十四萬人ほどがそれになる。が、此の數に對比しても尙ほ現在の二十四萬人は一割四分を超えないのである。

三　取り殘された關鍵産業

組織勞働がどれだけの力を有つかは、單に數の多少や自身の組織構成の良否の問題だけでなく、如何なる産業部門、如何なる工場が組織されたかに依つて定まらねばならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

産業別組織勞働

	組合數	組合員數	勞働者總數	總數ニ對スル組合員數ノ割合
金屬工業	五一	九二・〇	三二〇・〇	二八・七%
纖維工業	一一	一一・五	九三八・八	一・二
化學工業	九	六・二	一七三・八	三・四
食料工業	八	四・五	一六九・五	二・五
印刷工業	一五	八・五	四〇・三	二一・四
雜種工業	五三	一五・二	六七・一	二二・七
建築土木	一二	四・九	七三六・八	・六
鑛業	五	二・九	三一〇・〇	・九
交通 陸運	二三	二五・八	七六一・〇	三・七
交通 海運	七	六六・六	一六二・〇	四一・〇
電氣	三	一・九	五五・〇	三・五
商業	二	〇・四	一、一〇九・〇	〇・〇三
計	二〇九	二四〇・九	四、三四八・七	五・五

――人數の單位は千人本表の數字と前掲の聯合體及び單獨組合に關する數字は、『產業勞働調査所』より近刊『勞働組合調査』による――

右に依つて明かなやうに、我國の最大產業たる纖維工業の組織率は僅かに一分二厘に過ぎず、鑛業、鐵道、電氣等の鍵鑰產業（キーインダストリー）は何づれも平均組織率以下にある。平均以上に出づるものは、海運、金屬、印刷、及び雜種であつて、雜種の組織率の高いのは、これまでに組織されたものが比較的に重要ならざる雜多の小產業部門であつたことを最も有力に示すではないか。鍵鑰

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

産業を含む金屬工業の好成績は聊か意を强うするに足るかに見える。が、これとても仔細に見れば、組織されたる工場の大多數が中小工場であることを知るであらう。

大正十二年末、我國に於いて勞働者百人以上を使用する大工場は二千三百五十九を算し、此の大工場にある勞働者の總數は百萬五千人餘であつて全工場勞働者數のほゞ六割を占めた。また、五百人以上を使用する工場は四百九十にのぼり、かゝる巨大工場の勞働者總數は六十八萬五千人餘であつて全工場勞働數の三割八分七厘――殆ど四割――に達した。これらの數字は、言ふ迄もなく、我國工場勞働者の集中が著しく進んでゐる事を語り、强大なる勞働運動の發達すべき客觀的條件の具備を示すものである。しかるに、大正十三年末に五百人以上を使用した巨大工場及び鑛山六百八十一に就いて見ると、その內で對抗組合――勞働者自身の組合――のある工場は僅かに六十八に過ぎない。內十三工場は官營、二工場は市營である。加ふるに、六十八工場に於けろ組合の中には極めて微力なもの有名無實なものが少くなく、中、有力と見るべきは四十に足らない。全體として、巨大工場にある組織勞働者の數は恐らく二三萬に止まり、組織率は三分乃至四分を出でずと見られる、巨大鑛山の組織率に至つては更に低劣であつた、蓋し、我國の鑛業に於いて首位たる炭鑛業わけても財閥トラストの鐵壁で固められた北九州炭田の關門は、これまでの吾が勞働運動では齒もたゝなかつたから。

我國の重要產業中、勞働者數の點に於いて最も集中化してゐるものは、纖維工業中の紡績、金屬機械工業中の造船及び精錬、鑛業中の石炭、等である。卽ち、五百人以上の巨大工場に勞働するものは、紡績工二十四萬の九割二分、造船工十萬の八割、精錬工三萬の八割八分、炭坑夫二十八萬の七割を占め、此の炭坑夫二十八萬の七割なる二十萬人の內の十五萬人以上が、福岡一縣に集中されてゐる。しかるに、之等の、資本家階級の『要害』であ 勞働軍勝利の『鍵關』である所の、從つて運動上最も戰術的意義大なる所の、集中的重要諸產業に於いてこそは、却つて殆ど組織の見るべきものがないのである。また、すべて十六萬を有する官營諸工場の多くは金屬機械工業に屬し、官營工場勞働者總數の九割五分は五百人以上の巨大工場の人である。官營工場の組織率は前記の諸部門に比すればやゝ勝れてゐる。が、しかし、下級從業員十五萬を有する鐵道―此の至要な產業

部門—は、全く未組織の儘に殘されてある。

四　躍勃たる生長力

わが勞働運動は、大正十二年以來の兇猛なる反動期の試煉に堪えて、無産大衆の中に根をおろした。が、その根は未だ幼少である。わが無産階級は、必然に有つべき組織を既に有ち始めた。が、その組織は未だ、組織さるべき勞働大衆の僅か一割强を抱擁し得ただけである。此の小部分の組織勞働は其の上に、未だ、近代的勞働者の最重要區分を獲得してをらぬ。『組織』といふ。が、この組織は未だ無組織を特徴とする組織の域を彷徨する。

最有力の諸團體によつて其の意志を代表された二十餘萬の吾が『組織』勞働は、過日、農民勞働黨をつくらんとして之れをつくり、政府の惡壓によつて解散された時に、一つの組織的抗議をも敢行し得なかつた。——冷靜に想はう、あの事態が暴露したのは、吾々の階級的無力そのものではなかつたか？

が、しかし、此の無力と幼少とは、わが無産階級運動の生活力の微弱さを意味するものでは決してないのである。最近の過去一年間に發現された其の生長力は、實に、旺盛そのものであつた。ます／＼熾烈なる資本攻勢の下に、組織キアンペンに最も不利なる條件の下に、各組合は或は支部員を增加し或は處女工場を開拓して、異常なる膨脹を遂げた。例へば勞働總同盟と組合評議會の如き、昨年三月の分裂と共に一部の者をして存立の危胎をさへ云爲せしめた此の二大組合は、爾後の九ケ月間に於いて各々その組合員を倍加したではないか。が、驚異はそれに止らなかつた。同じ期間に於いて我が組織プロレタリアートは、劃期的な一歩を踏み出してゐるではないか。——政治的結成への一歩を—しかもそれは、大衆的全國的單一無産政黨なる紀念すべき標語の下に試みられ、そして標語通りの組織體をば、よし一時にもせよかち得たのであつた。

五　更に大いに伸んが爲に

組合運動の草創時代の渾沌と無秩序とに向つて今ま叛逆しつゝあるものは、組織勞働それ自體の此、躍勃たる生長力に外ならぬ。運動の勃興に處しての最善可能の方法——應急的、拙速的、無計畫的な組織活動の裡から生れたところの、少數個人中

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

心的な分派と雑然たる分立とを含む現組織形態は、これ以上の階級的發達にとつてはもはや桎梏となつた。過般來の單一無産黨運動は言ふ迄もなく、最近に三團體を結合して全國勞働組合總聯合を成立せしめた運動の如きを見ても、その底に強く動いてゐる物は、全陣營の再編制と全戰線の統一化とによつて更に大いに暢びんと欲する階級的意欲である。此の意欲は攻勢的資本の容捨なき鉾先に面して、更に強化され深刻化された。その前に立つた時、此の合理的統一的組織の要求は、發展の爲めといふよりは生存の爲めのものだとさへ言へる。産業別合同、全國的總聯合は、従つていまや、執拗なる行動に裏づけられた活きた標語とならうとする。

が、しかし、組織勞働の生存は、如何なる場合でも、發展に依てのみ保たれねばならぬ。誰れが此の時、背後に殘る八割五分の未組織大衆を想はぬであらうか？　組織勞働の陣營に彼等をかち取る事は、それ自身、生長の過程であり、それ故にまた鬪爭の過程である。工場大衆の日常生活に即して不斷に戰はるべき鬪爭の過程である。此の鬪爭は、しかるに、組織勞働の陣營内の支離滅裂を以つてしては、もはや到底有効に戰はれ難くなつた。在來の方法によつて組織し得るものは、殆ど獲得し盡されたからである。組織されたものは、全體としての比較的に階級的重要性の少ない部分であり、殘された部分こそ鍵關産業を含む最集中的な重要區分に屬するのに、此の勞働大衆こそはまた實に、戰鬪意思と抵抗力との最強大なブルジョアジーの搾取下に立つ。組織勞働は、いまや、積極的に、計畫的に、此の重要區分に向つて働きかけやうとするのである。資本家聯合の形成を見た産業、財閥トラスト國家トラストの支配下にある産業部門の巨大諸工場に向つて進まねばならぬ時、個別的、局所的な攻撃はもはや用をなさない。僅々二三萬の組合員の僅々四五錢の組合費によつて立つ所の群小聯合體では力及ばない。これからのドライヴは、既成諸組合の綜合による強大な戰線の確立を必要條件とする。そして既に紡績勞働が動き、北九州が動き、更に鐵道さへが動いて來たことは、統一戰線への促迫をいよ〱強めつゝあるではないか。

綜合への過程は、一見迂路たるが如き工場から開始されやうとしてゐる。恰も現下の轉期を象徴するものゝやうに、今や、飽くまでも工場の内にあつて質實なる鬪爭を辛棒強く戰はうとする者が各所に現はれた。それらの新しき鬪士は、冷め易い群

集的昻奮に乘じて功名を拾はうとする代りに、自らも工場大衆の一人として、その生色なき機械生活の底にひそむ階級的な力と熱と光とを活かし強むることに依つて、根底深き信任と指導力とを確行するに至るであらう。そうして、摑まねばならぬ機會を的確に摑み得て必勝戰をたゝかひ、爭議大衆の直接要求に即して所要の統一戰線を促進し達成するであらう。吾が資本主義的國民經濟も漸く『安定』を回復し、景氣の轉換が豫想される。たとひ中間景氣にもせよ、經濟戰線に於ける勞働軍はそれと共に攻勢に轉ずべき機會を迎へる。

新しき擴大戰線への進行と共に、指導分子もまた淘汰の篩を免れることは出來ぬ。そして、全運動は、ますます、新形式の舊衣を脫し、生々乎たる屈伸性を發現するであらう。

六　轉期に立つ

『プロレタリアートは、種々なる發達段階を經過する……最初は個々の勞働者が、次には一工場内の勞働者が、次ぎには一地方に於ける一勞働部門の勞働者が、直接に彼等を搾取する個々のブルジョアに對して戰ふ……此の段階に在つては勞働者はまだ全國に散在し、競爭の爲めに分裂した集團である。』

『……（がやがて）個々の勞働者と個々の資本家との衝突は、次第に兩階級の衝突たる性質を增して來る。そこで勞働者は、資本家に對して組合を作りはじめる。彼等は勞賃を維持する爲に、時々の反抗運動の爲に、兼ねて其の資力を養ふべく、繼續的の團體を組織する……』

『勞働者は折々勝利を得る。が、それは只だ一時的に過ぎない。彼等の闘爭の眞の效果は、その直接の結果にあるのではなく、只だ勞働者の結合が絕えず擴大する所にある……　絕えず發達する交通機關は、かゝる機會を促進し、諸地方の勞働者をして互に聯絡を取らしめる。そして此の聯絡こそは、到るところ同性質を有する無數の地方的闘爭が一個の全國的、階級闘爭に集中される爲に必要なものであつた。が、あらゆる階級闘爭は政治闘爭である……プロレタリヤを階級にまで結成し、從つて政黨にまで結成する此の組織は、また絕えず勞働者自身の間の競爭によつて破壞される、けれども其れは又た絕えず勃興して、ヨリ強くヨリ鞏固に、ヨリ優勢になつて行く……』（マルクス、エンゲルス）

わが無產大衆も亦たその政治的結成に向つて急ぎつゝある。それは、彼等が既にその經過すべき諸段階を悉く經過したこと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

を意味するであらうか、答は、否であり然りである。我國の無產者運動は、夙に日清戰爭時代に其の第一段楷を踏み出し、日露戰爭前後には既に第二段楷に移らうとしてゐた。が、運動は其後、周知の理由によつて中絶ヽ形をとつた。そうして世界大戰の半ばに至つて勃然として第二段楷の運動を起すと同時に第三段楷へも進出したものである。たま〳〵其れが世界的な革命的高潮の時期であつたことは、疑ひもなく、階級としての政治的覺醒を異常に刺戟した。が、かゝる特殊の發展を見るに至つた首要原因としては、我國の資本主義的發達が其時既にプロレタリアの政治的結成の爲めに熟してゐた事を擧げねばならぬ。(一方には、工場の集中、交通機關の發達、教育の普及を、他方には勞働條件の惡化、物價の暴騰、帝國主義的負擔の增加を想へ。) 客觀的條件の成熟にも關らず。支配者階級の彈壓下に雌伏を餘儀なくされて居た階級は、それを跳ね返すや否や猛然として政治的鬪爭に向つた。その思想的現はれは、ブルジョア政治の否定、直接行動論、等、等の形をとつたのである。新選擧法通過後の政治的戰線の形成は、獲得した投票權の有効行使の必要、革命歌的氣分の下降、資本家的反動政策の一時的奏効、等、種々なる誘因に負ふとは云へ、より遙かに根本的な動因は、組織勞働の增大にある。そして何人もこゝに、農民階級の急速なる組織化の事實を見落すことは出來まい。

かくして、經濟的結合の段楷と、政治的鬪爭の段楷とを、最初から殆んど同一時に踏み出さねばならなかつた我が無產階級は、その急速なる生長に依つてすでに、いま、全組織勞働の統一化と、殘されたる重要區分勞働の獲得と、そして最多數可能の無產大衆および準無產大衆の政治的戰線の結成とを、出來るだけ速かに實現せねばならぬ絶對的な階級的必要に迫まられるに至つた。この必要は、新らたなる戰術と行動と覺悟とを要求する。轉期に立つとは即ちそれである。

七　尨大なる友軍組織農民

無產黨組織運動に關する最近の新聞情報は、保守的なるを特徵とする農民團體が其の『左傾的』傾向のために屢々困難な立場に陥ると云ふ奇觀を呈したかに傳へる。その眞否はさておき、こゝに動かすべからざる事實は、家長的盲目思想の巢窟として知られた我が農村が、これもまた僅々數年の間に、一躍三十萬以上の組織農民を有つに至つたことである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小作組合及び組合員數

	協調的組合	對抗的組合 日本農民組合ニ屬スルモノ	對抗的組合 其他ノ對抗組合	對抗的組合 計	合計
組合數	一、三五一	九六二	三、〇三八	四、〇〇〇	五、三五一
組合員數	一一四千人	七二千人	二三三千人	三〇六千人	四二〇千人
小作農家總數ニ對スル割合	二・五%	二・四%	六・二	八・六%	一一・一
組合員數合計ニ對スル割合	二七・一%	一七・四%	五五・五%	七二・九%	一〇〇・〇%
對抗的組合員合計ニ對スル割合		二三・八%	七六・二%	一〇〇・〇%	

註、組合員數は千人單位。組合及組合員數は大正十四年末現在。小作農家數は大正十二年末現在で、三、八ヽ三、四四一である。

之れに依つて見ると、農民の組織率も未だ決して高いとは言へぬ。農民自身の組合を有する農民は、小作農家總數の八分六厘であり、可能的組織率を假りに四割と見れば、組織し得べき農民數の二割一分に當る。更に、組織農民中で、全國的組織を有する日本農民組合に屬する者は七萬三千人弱であつて、組織農民の二割三分を占めるに過ぎぬ。日本農民組合は、全國三府一道四十三縣に支部を有する包括的な組織であつて、近畿、四國、九州に於いて比較的に高度の組織率を示してゐるが、北陸四縣と中部六縣の組織が未だ進まない。これらの十縣に於いて多かれ少なかれ對抗的性質を有する組合の組合員は、總べて十一萬三千餘人に上つてゐるが、その內日本農民組合に屬する者は僅かに一萬である。然しながら、これらは實に此組合創立以來の極めて短日月の間に擧げられた成績であつた。その意味に於ける之等の數字は、それ自身一箇の驚異であるばかりでなく此の組合による農民の全國的結合の、異常に多望なる前途を祝福するものである。

七萬三千を擁する全國的組織農民の、我國に於ける社會的重要、現下の無產者運動にとつての壓倒的重要は、過般の政黨組

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

織運動の具體化と共に有らゆる階級の認識にのぼつた。日本農民組合は、租税、物價、金融、勞賃、團結權、耕作權、協同組合、等、農村自體の緊切問題を捉え、やゝもすれば地方的小鬪爭に耽けりやすい農民大衆を動員し、全國的階級的な爭點に彼等の全注意を集中させるであらう。かゝる努力に依つて組合は、それ自身の膨脹をかち得ると同時に、プロレタリアートの政治的戰線に尨大な援軍を送るであらう。

『農民階級の解放は、プロレタリアートとの提携に依つてのみ實現される。』とは云へ、この『特殊國』日本に於て紛れもない事實であつたやうに、無産政黨へのイニシアテーブを農民代表が取つたと云ふ事は、世界的記錄でなければならぬ。が、我々は、この點に於ける組織農民指導分子の達見をたゝえる前に、先づ、我國の農民大衆と都市勞働者との協同動作を可能にし必要ならしめる客觀的諸條件の存在を想ふものである。帝國主義的負擔の增大と生活費の昂騰とに反抗する鬪爭目標の共通は其の一である。小作農家及小自作農の大多數が、一面に於ては純乎たる『勞働力の賣手』たることはその二である。この農村大衆はみづから日傭勞働者と季節勞働者とを兼ねるばかりでなく、我國工業の『大宗』たる製絲、紡績、織物工場が吸收する二百萬の『娘子軍』の父兄として、其の勞賃に依存する。そのうへに尙ほ、一坪の土地も所有し借耕しない所の三十七萬の純農業勞働者のあることを忘れてはならぬ。農業の機械化、資本主義化の傾向は、既に目に立つ程の進行を起し、二三の要件の成熟を俟つて急速に展開せんとしてゐる。それと共にこの農村プロレタリア群も亦た著しく增大するであらう。最後には、我が農村の多くが、都會と工場地とに近接し、思想上常に數歩を先んずる近代的プロレタリヤと不斷の接觸を有つことと之れである。これ等の事態はみな、農民大衆を特徴づける所の小ブルジョア的傾向を弱める。かくて此の偉大なる階級は、プロタリヤートの一敵國たる代りに、その賴もしき友軍たらんとしてゐるものである。

八　中間階級は？

が、しかし、これらの總てと雖も、工場大衆と農村大衆とを本質的に異らしめてゐる所の、兩者の物質的基礎の相違を滅却することは出來ない。農民の大多數は尙ほ土地と家とに執着を殘し、傳統を尊重し、變化を恐れる。そして彼等を政治的勢力

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に結合せしむる指導分子として、最も地の利を占めるものは地主階級である。プロレタリアートの戰線が農民大衆の參加を俟つことの切實なればなる程、彼等の保守的要求を無視することが出來ず、その影響を免れることが出來ぬ。

農村の準無産階級と並んで、極度に疲弊した下層中産階級の大群があり、謂ゆる知識階級の過半も亦たこれに含まれる。我國の資本主義的發達は、一方には主要産業の勞働者を大工場鑛山に集中しながら、他方には比較的多數の小工場主と手工業者と小商人とを生殘らせて置く、下級俸給生活者の數も頓に増してその生活は頓に苦しく、『高等遊民』の大量生産が始まりかけてゐる。彼等の一部分は既に無産者運動の支持者であり、其數も意外に多いが、大部分は未だ自由主義的革新運動の漫然たる希望を捨てない。實數よりも遙かに大なる輿論指導力を有する此の社會層は、普選實施後の政戰の展開につれて、自余の中間階級分子と結び、大資本家大地主及び帝國主義化した封建的殘物に對して多かれ少かれ對抗的なる一勢力を形づくるであらう。此の階級の社會的重要は、無産階級もしくは農民階級のそれに比すべくもないとはいへ、我國の政治的無産者戰線にとつての重要性は、先進諸國に於けるそれよりも遙かに大なるものがある。そして勞働者農民黨がどれだけ有利に中間階級分子と提携し得るかは、主として、勞農黨それ自身がとれだけ大きく強く結成されるかによつて定まるであらう。

九　封建的盤根

我が國の資本主義は、まだ農村と家庭とを征服しなかつた。此の二大域を生活根據とする封建的盤根は、國家機關の諸制度に殘んの花を咲きいでゝゐる。典型的な家長的政府の庇護の下に男となつた新興ブルジョアは、此の殘物を邪魔物視こそすれ敵視しはしない。利用し操縦すべきものとこそ見れ、破壞し掃蕩すべきものとは見ない。謂ふ所の政府は、その直營の諸事業に於て、全國工業會社拂込資本總額の四割を超える産業資本を擁し、その『預金部』其他に於いて、安田、三井、三菱の三巨大銀行の總預金に匹敵する貨幣資本を運轉し、且つ年々少なくとも十五億萬圓を下らざる商品を買入れる。世界大戰の僥倖を拾つた吾が産業資本家及び金融資本家が、前者は獨立への、後者は制覇への過程を殆ど同時に開始するや、從來半封建的政府とブルジョアジーと間に出沒して『利權』の渉獵に生きた既成政治團體は、顯著なる分解作用を起し、一大無産黨の出現によつ

て急速に其の歸結に導かれやうとする。

一〇 矛盾と擴大と深化

最も自然的資源に富んだ北欧の一大地域に亘つて社會主義國家が力強く伸び始めた。自余の歐羅巴に余命をつなぐ資本主義諸國は、戰前の經濟的水準を恢復すべき望なく、無産階級の强大化を如何ともし難い。世界資本主義の沒落は、理論の域を脫して事實の域に入込んだ。資本主義的世界經濟の一環としての日本は、此の大勢を超越することは出來ぬ。言ふ迄もなく、日本、及び日本が經濟的に依存する米國は、大戰の破壞的影響を免かれて却つて著大なる資本主義的發展を遂げ得た。戰後恐慌の打擊から回復の途上にある日本は、未だ金本位制を復興し得ず、多數の勞働者に職を與へ得ぬとはいへ、しかも生産に於いて貿易に於いて計劃資本に於いて遙かに戰前の水準を拔いてゐる。國民經濟の全規模は殆んど二倍した。内部的には又た集中が進み、製造工業が精化し、重工業は基礎づけられた。金融資本主義の急激なる擡頭と、獨占的段階への進出とが、『産業立國』の標語を生み、武斷帝國主義から資本帝國主義への轉形が、しば／＼『平和的外交』を發明させた。

しかながら、此の發展、此の進化は、同時に、組織に内在する資本主義的諸矛盾の擴大と深化とを意味するものである。生産と消費との間の矛盾が增した。各生産部門間の矛盾が增し、わけても農業と工業間の矛盾が增した。そうして物價と賃銀と間の矛盾が激增した。最後に、國民的生産力と國家的經濟地域の間の矛盾は、實に不景氣に依つて辛うじて爆發點を免かれてゐる。『經濟が立直れ』ば直るほど、東洋に於ける英米の資本と我國の資本との衝突は鋭どさを增し、同時に諸國の帝國主義と支那大衆の民族的覺醒との衝突、從つてまた勞農露西亞の國際主義との衝突を不可避にする。

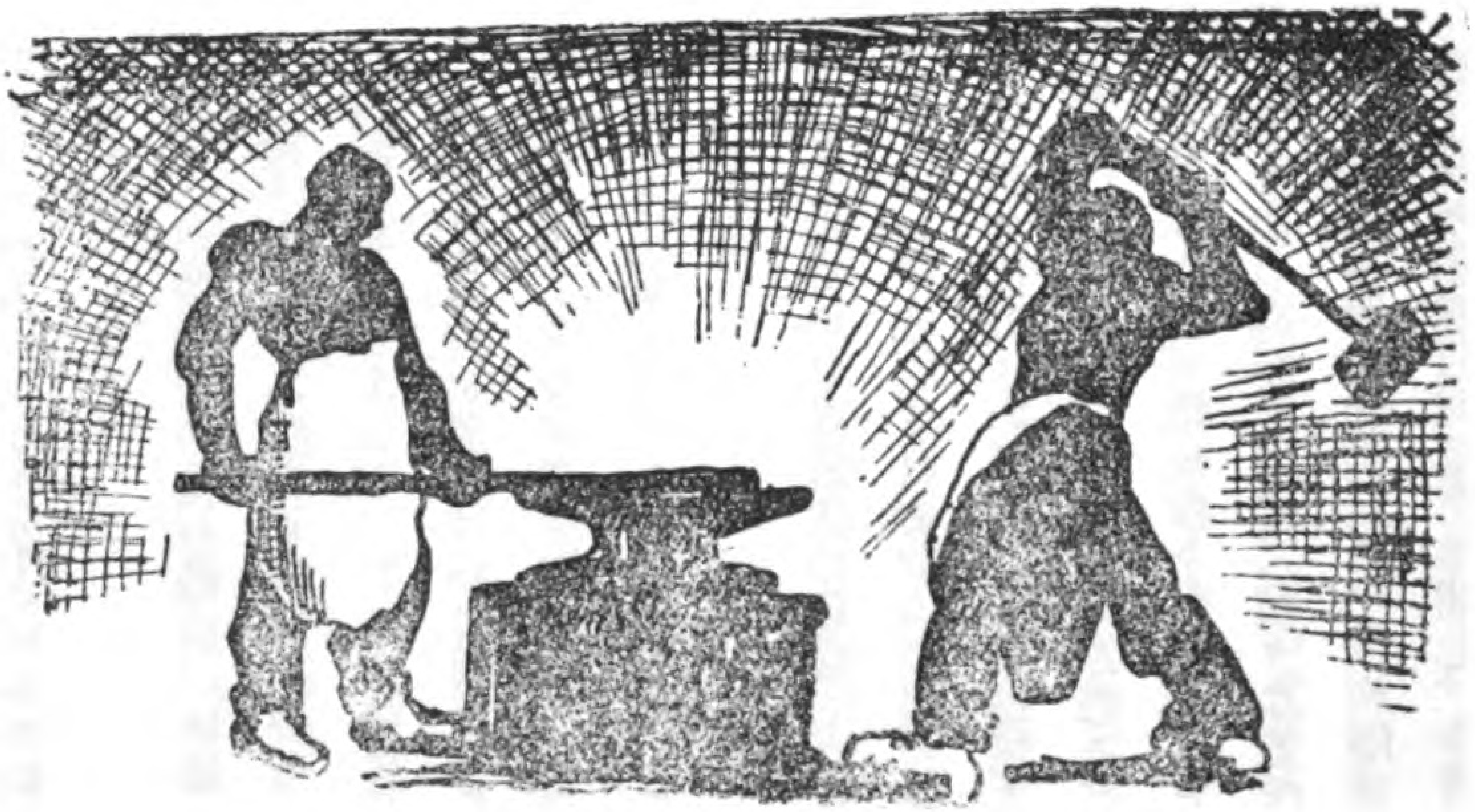
ブルジョアジーは、これらの矛盾をば只だ資本主義的に處理することを知るだけである。生産制限によつて、保護關税によつて、企業合同とカルテル化とによつて、財閥トラストと重工業トラストと銀行トラストとを融合する國家資本主義的トラストの促進によつて、『平和的』外交と軍備の『充實』と思想の善導と治安維持法と組合破壞法案とによつて――有らゆる彌縫と横道とに依つて、此の矛盾に充ちた生産組織の存續を企て得るだけである。そうして其の努力の一節毎に、ヨリ大規模にヨリ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

深刻な鬪爭條件を生産し、ます〳〵階級的對立を尖銳化するだけである。――すべてが、民衆の負擔に於いてなされるのだから。

我國ブルジョジーの社會運動對策に於ける一進步であるかに取沙汰された最近の戰法――謂はゆる左翼を抑え『右翼』を暢ばして以つて全運動を軟弱化せんとする戰法の立案者は、運動を骨拔きにする前に先づ『勞働組合法案』を骨拔きにしたことに依つて美事に自身を裏切つた。ブルジョア自由主義が封建的盤根を征服してゐない國に於いて、隆盛な資本主義と共の有機的平和的な發展のない處に於いて、そして――增大した矛盾の現はれとして――勞賃が實質上は低下しながら名目上却つて昂騰し我が資本家の唯一の賴みであつた『安い勞力』が昔話の一つとなつてゐる時に、從つて彼等が如何なる組合とでも鬪はねばならなくなつてゐる時に、從つてまた、勿論、『勞働貴族』を中堅とする盛大な職別組合を指導すべき『勞働官僚』の黃金世界も糞もない時に、人はそも〳〵如何なる『右翼』を暢ばさうといふのであらうか？　此の國には、勞働官僚の大々的寄生を許す組合機構がない。かゝる機構の物質的基礎がない。そして――呪ふ者に禍あれ――わが無産者運動は未だ若きが故に純眞であつた。

有らゆる情勢の命ずる所によつて、全國的單一無產政黨の出現はもはや單なる時日の問題となつた。生れんとする黨は、草創時代を脫せんとする組織勞働と、半封建的地殼を破らんとする組織農民との、瞬勃たる生長力の體現であらねばならぬ。だからそれは、或る全く新しき意味での堅實性を獲得する爲に暫くは鬪はねばなるまい。で、さし當り只一つの戰法が許される。曰く密集！　陳列にある者すべての密集。然る後の大いなる展開、急速なる增大の爲めの客觀的諸條件に至つては、既に熟し過ぎてゐるのである。――日本は多望だ。



組合運動現下の重大問題

（一）

中村義明

組合運動が當面せる緊急問題は多々あるが我々は左の三を現下の最も重大なるものと考へて居る

(1) 組合總聯合の形成
(2) 無產政黨の結成
(3) 未組織勞働者の組織

我々が今日當面して居る政治的社會的狀勢は―殊に我國に於て―無產階級の勢力を集中し、統一することを要求しておる。

國際資本家主義は、現在帝國主義世界戰爭直後の動搖狀態より安定して居る。然しそれは固より資本主義の行詰りが轉換されたが故ではない。國際資本主義は依然として加速度を以つて沒落の行程を急ぎつゝある。從つて國際資本主義の一環たる我國資本主義は必然同一の運命を辿りつゝある事は固よりで、政治經濟其他凡ゆる方面の現象は明かに之を證しておる。

而して斯る資本主義の沒落行程の中に尙ほ安定を求めんとする資本家階級の最後の努力は、無產階級を一層激烈に搾取し、資本主義行詰りの一切の負擔を無產階級に轉

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

換せんとする事である。最近類々として起る、賃銀低下、時間延長、解散、大衆失業といふが如きは、凡て、その結果である。

こうした資本家階級の最後の狂暴は日一日と鋭くなつて居る。彼等は凡ゆる勢力を動員し必死となりて無產階級の勢力の擡頭を抑壓せんとして居る。特に彼等は無產階級が政治的に結成することを恐れ怖いて居る。農民勞働黨の禁止は、政府、資本家、並びに無產階級内の裏切者は色々と逆宣傳をして居るが、要するに無產階級の政治的結成を恐れたが故に外ならない。

又前期議會に世界最大の野蠻的な暴法治安維持法を制定したブルジョア政府は社會政策の美名の下に、今期の議會には、過去十數年間我々の兄弟が苦心慘憺して築き上げた勞働組合運動を一擧に去勢、破壞すべき恐るべき勞働組合法、爭議調停法、並びに暴力取締法を制定せんとして居る。更に又彼等は一方凡ゆる機關を通じて種々なる流言を飛ばし、或は無產階級陣營内の傭兵を動員し、無產階級の陣營を攪亂し以て同一戰上の無產階級兄弟を離間し、分裂を策し、これを無力ならしめる狡猾な策戰を取つてゐる。然して資本家は經濟上に於ても、次第に宣傳し組織的統一的に勞働階級に、抗戰して居る。

然るに我が無產階級の陣營内にはまだ、無產政黨、組合總聯合の如き機關がない。全く吾々の勢力は分散し、ブルジョア攻擊に對すべき力強き戰鬪力を有せない狀態である。

我國の組合運動が前記三の問題を現下の重大問題とせるは實に旨べなる事である。

（二）

(1) 組合總聯合の形成

全國の勞働組合を打つて一丸とする總聯合は我國勞働階級の永い間の希望であり、切實なる要求である。我々は今日まで總聯合がない爲めどの位い損失を重ねて居るか解らない。資本の攻擊が益々激烈となつて居る今日總聯合の必要は實に緊急切實な問題である。

經濟戰線を統一せよ！　部分的鬪爭を全般鬪爭に導け！　個々の工場、個々の資本家を相手取る戰ひにも全勞働者の力を合せ！　これは現下の最も切實なる無產階級の要求である吾々は凡ゆる努力を傾中し速かにこの要求に組織を與へねばならぬ。それは卽ち總聯合である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

現存せる各組合を産業別に整理した後に總聯合を、或は産業別的整理と同時に總聯合をといふ意見がある。それは最も望ましい事であり理想的ではある。が然し今直にそれは望まれない事である。今日の實際的必要は、現存の勞働組合が即時總聯合を先づ形成してブルジョアの攻撃に對抗することを要求して居る。而してその基礎は既に充分出來て居る。即ち全國の主要團體は殆んど全國的な聯合體か、全國的單一組合である。　然らざる組合も大低地方的協議團體の中に組織されて居る。加ふるに最近新たに組織された、惡法反對、國際勞働代表選出等、個々の問題についての全國的協議機關の出來て居る事は總聯合の機運が熟して居る事を一層強く表明して居る。

而して吾々は形式される總聯合の中に必ず農民を抱擁せざるべからざる事を主張する。何んとなれば我國に於て組織農民大衆は多數に上つて居り且つ農民が我國無産階級の經濟鬪爭に政治鬪爭に演ずる任務の最大である事は、最近の事實が明かに物語つて居る。

（三）

(2) 無産政黨の結成

普通選擧はブルジョアが無産階級に贈り物したものではなく無産階級が階級的に生長した結果としての獲得物である。今や全國無産階級の間に政治鬪爭の氣運が漲つて居る。而して政治鬪爭の最大の機關は政黨で、政黨がなければ、組織あり、効果なる政治運動を行ふことは出來ない。而して、その政黨は凡ゆる無産階級の政治的勢力の結合即ち勞働者、農民を凡て同一の政黨に結合せしめ、全無産階級が共同してブルジョアの政治勢力に對抗するところの所謂全國的單一政黨でなければならぬ事は總同盟其他の少數幹部以外全無産階級が認め要求して居る事である。曩の農民勞働黨は政府の彈壓に當面したが抑へ難き無産階級の要求は固より粉粹することは出來ない。この無産階級の要求を、最も大膽に、率直に代表したものが日本農民組合の、全國的單一政黨組織の提唱であつた。

今や全國的單一政黨再組織運動は全無産階級の熱烈なる支持の下に結黨へと急いで居る。無産階級戰線に立つ者は虛心坦壞にこの運動のために最善の努力を擧げ、出來上る政黨をして全無産階級を抱擁する處の全國的大衆的政黨たらしめねばならぬ、同時に農民と勞働者との政治的結合を共産主義者

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の主張云々と威し文句を並べて、大衆的單一政黨に吝を付け其の成立を妨げようとするが如き反動主義者の一掃のために闘はねばならぬ。

（四）

(3) 未組織勞働者の組織

我國に於ける組織勞働者二十四萬餘人は全勞働者數に照し僅かに五分四厘に過ぎない、廣大なる大衆は組合の外にあつて恣にブルジョアの搾取を蒙つてゐる。我々は單に組織勞働者の利益のためにのみ戰ふにあらずして、全勞働階級の利益を第一眼目とすべきである。我々は組合利己的運動を以つて現實的組合運動だなどゝ叫び狂つて居る連中の運動には斷乎として反對し徹底的に排撃すべきである。

全勞働階級の攻撃力を集中し、ブルジョアの攻撃に全線戰的に對抗することは我々が現下の緊急問題である。

それを實現する一具體的方針は未組織勞働者を出來得る限り組織することである。

勞働組合は日常利益のために闘ふ闘爭團體であり、闘爭を通じて其の階級的精神を醒めしむる教育的な任務をも有する。我々は具體的標語を掲げて未組織大衆に近づき之を組合に吸收し、勞働階級の組織的戰闘力を益々倍加せしめねばならぬ。この方面に對する我々の意識的計畫的努力は最も大切である。

（五）

以上、我國組合運動が當面せる現下の重大問題について簡單なる意見を述べた。

三つの問題は、決つして一ツ一ツに分離して考へる事は出來ない。それは三ツの方面から見た一ツのものである。即ちその一ツのものとは、資本の攻撃に對する無産階級の武裝である。我々は、總聯合の問題にせよ、無産政黨の問題にせよ或は又未組織勞働者の組織の問題にせよ、其他如何なる問題にても、それを個々別々にそれのみの問題として考ふべきではない。我々の運動戰術は、凡て、資本家階級に對する戰闘の上に立てらるべきものである事を忘れてはならぬ。

勞働組合の任務は妥協に非らずして、戰闘である。大衆の日常利益のために闘爭すると共に勞働階級解放の最も強き戰闘部隊たることは勞働組合本來の使命である。(二、十五)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

國際勞働代表と全國協議會

田中貞吉

一

我國現下の無產階級にとつて最も緊切なのは、如何にして全勞農大衆が共同の陣列を確立して資本の攻勢に備へ、無產階級運動全體を進展させるかにある。無產政黨の組織、勞働組合の總聯合問題並に國際勞働代表問題はかくて、無產階級共同戰線のための有効なる題目であり、好機會でなくてはならぬ。

しかも、國際勞働代表選出は、單に勞働階級にとつて組織上の利益と間接的に資本家政府へ抗議する程度の利用價値しか持たぬのではあるが、最も有効な共同戰線の機會である點に於て他と同一の價値がある。

二

昨年度迄の國際勞働代表選出方法は、當然設置すべき筈の機關すら設けず、比較的組合員の多數なる、二三の組合に依て、これを專用し、しかも、組織的利用價値は、逆に反動的勞働組合すらも出現させた情勢を惹き起した。昨年度の市電自治會及び機械聯合會は、各々聲明して選出方法の改造を叫んだ。しかし乍ら、具體的運動には移すことが出來なかつたが、本年度に於て極めて積極的な意志を表明し、それの具體化を見たことは自他共に喜びとしなければならぬ。

今、その經過を報告し、今後は單なる勞働代表選出だけに止めず、各地に設けられつゝある組合會議其他との協同一致を以つて進むべきである。現に行はれつゝある惡法反對全國委員會が全く一時的であるが如きは總聯合の缺除せるためであつて、大なる損失なりと言はねばならぬのである。

三

本年度勞代問題は一月初め既に新聞辭令に依て顏ぶれの發表があつた。しかし乍ら我等は昨年度の聲明を具體化すべく

市電自治會等と相談して居たのであるが、第二次無産黨の問題にて關西側幹部の上京せられた諸君とも打合はせ贊成を得たのである。たまたま評議會擴大中央委員會にても、大同小異の決定を見たことは、全國協議會實現のため、意を強ふするところがあつた。

二月一日機械聯合會にては特別委員三名を舉げ友誼團體との交渉その他の具體的實現の一切を委任された。幸にも、自治會にても同一態度であつたので、打連れて總同盟を訪問したが會長不在のため意を果さず、翌日再び訪問したが遂に贊同を得るに至らなかつた。そこで二月四日案内狀を各團體に發送しその準備をなしたのであつた。

二月十一日午後二時折柄惡法案反對のために上京中の各地の代表出席し、異常なる緊張の裡に開會された。

發起團體として自治會濱田君より案内狀發送までの經過を報告し、そのまゝ議長に推されて議事に入る。開會第一に、全國へ組合中出席なき組合があるが、全國協議會を成立せしむ可きか否かを計つたところ、二組合以上出席すれば差支へなしとの意見も出て、全國協議會は成立するに至つた。

ついで、本年度代表選出は如何にすべきかの議題に入り本年度は初めての協議會であり、また時日切迫のゆえを以て棄權すべし、同時に左の内容を持つ聲明書を發表すべしとの坂本君の提議があつた。

一、協議會開催の眞意。

一、總同盟、海員組合の反省を促すこと。

次いで、名古屋の荒谷君から協議會成立の上は、人選は別として投票權行使が未組織勞働者結成の上は將又、本協議會を意義あらしむるものであつて、何等の見苦しい行爲でないとの提案あり、各代表者間に行使、棄權兩說があり、和氣あいあいの中に行使說に決定した。而して、人選に就いて、一時休憩し、別室に於て懇談會を催し豫選をなして再會、評議會の本騰君より左の如き報告あり、滿場一致にて可決したのである。

一、本年度議題は海事關係事項あるため海上勞働組合より二名出すこと。

二、次回會議にも關聯するから陸上勞働組合から二名出すこと。

三、海上關係組合の內、代表に海員組合、楢崎猪太郎君

四、他團體の內下級勞働者として司厨同盟の村松君を顧問とする。

五、海事關係を考慮し海軍聯盟の川嶋君を出すこと。

六、他一名は中部地方より荒谷君を出して未組織組織に利用する

次いで「本協議會を永續的に設置」することは、満場一致可決して、諸組合へ推薦狀並に聲明書を發表するに決定し、次の議題に移らんとした時、市電自治會は人選に就いて異議を申立て「本協議會にて候補を立てるは、內約濟みの組合と競爭する結果を來すもので面白くないから、棄權するならば兎に角、行使するならば、內約をそのまゝ認めてやれ」との何等意味をなさざる動議があつたので、全代表は、自治會のこの態度の不誠意に一驚し當惑して、一時休憩を宣せざるを得なかつた。又々懇談會を開き、自治會のこの動議に對する意見を交換し、棄權か行使かの兩說に就いて討議を重ね、時間切迫のために大體對策を作つて再會した。會議は直ちに棄權か行使かの採決に入つたところが、懇談會の對策は不徹底であつたためか、多數を以て棄權に決定してしまつた。その間の事情は全く偶然に近いものであつた。

こゝに於て、直ちに聲明書起草のため委員を選擧し、吾々の最初の試企は幕を閉ぢたわけであつた。

四

右の様な波亂曲折を重ねて何物をも得なかつた様にも考へられる全國協議會ではあつたが全國主要十九個勞働團體、十數萬の組織勞働者による公明正大なる選出代表の機關を作りえたことはそしてまた最初の人選、選出方法から見て格段の差あるは、異常なる進步を劃したるものと謂はねばならぬ。

吾等の態度は國際會議に信賴を置くものでは勿論ないが、棄權したからとて單なる否認のそれでもない。吾等の今日絕對に必要とするところの、全國單一無產政黨のために、この機會を最も適當に活用することであつた。即ち、海員海軍或は總同盟等少數組合の內約に放任せず直接これに參與し監視し以て、直接幾分の効果を收め、官僚的組合との共同戰線の題目となし、國際會議の眞性質を曝露し、更らに、他方未組織大衆組織のために利用するこそ、吾等の態度であつた。

吾等は今回の協議會に於ても決議せる如く、日本農民組合を包括せる代表選出機關を以て、我國勞働運動の年中行事の一たる勞働代表選出を、最も公明正大なる無產者の立場と共方法とによつて實施せんがために、今後大いに本協議會を意義あらしめてゆかねばならない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本農民組合と政黨問題

稻村隆一

一、農民組合と單一政黨

先に日本農民組合は率先して單一無產政黨を提唱した。當時農民組合はそれ自身の立場から單一無產政黨は絕對に必要でもあつたし、また恰も他の勞働團體との間に介在して中立的立場にあつたがため、農民組合がそれが成立を各友誼團體の間に提唱したことは、他團體を糾合することに於て最も好都合の立場にあつたからである。

だから農民組合は理論的並びに實際的の立場より無產政黨組織の運動に着手したのであつた。

農民組合の單一無產政黨を要求する理論的根據は、明々白々である。即ち、農業は本質的に資本主義の營利經濟と一致しない。資本主義制度の下に於て農業は益々荒廢し、小作農は勿論のこと、自作農すら平均一年一戶當り二百圓の缺損を來すが如き窮狀にある。

故に農民は同じく現資本主義制度より害惡を受けつゝある都市プロレタリアと提携して、この資本主義を打開するのでなければ、永久に今日の悲慘より逃れることが出來ない。殊に經濟上の實權が益々少數の金融資本家の手に集中されつゝある、崩壞期資本主義時代に於ては、大地主は地方銀行を掌握することに於て、都市金融資本家階級と連結し、經濟並びに政治とに於て完全に兩者は提携し、一大階級政黨を形成するに至つた。憲政會は即ちこの政黨だ。憲政會の消極政策とは少數の大資本の下に小資本が急速に併呑される傾向を放任する政策である。今や小ブルジョアや自作農は急激に破産してプロレタリア、小作農の數は益々激增しつゝある。そして小農プロレタリアの窮迫苦痛は刻々と增大しつゝある。從つて小農や勞働者は現在の苦痛より逃れる爲、一切の努力を集中する。しかも尙ほ支配階級はこの崩壞期の資本主義を支持せ

んがためにあらゆる反動勢力を動員する。即ち彼等は政治上に於て兇暴なるファスチズムの形を取る。治安維持法を見よ！勞働組合法案を見よ！　そして敵の強襲が強ければ強い程勞働者と農民は力を結束し集中しなければならないのだ。そこで、農民組合は全無産階級のために、且又自己防衛の必要に迫られて單一無産政黨を提げて起つたのである。

日本農民組合が斯うしたわかりきつた理由から單一無産政黨を主張してゐるに關らず、各ブルジョア新聞が現に傳ふる如く、日本農民組合が出來もしない單一無産政黨を無理に主張するのは空論の上にたつてるからだとか、或は極左派に利用されてるからだとか驚くべき厚顔無恥な流言を勞働團體の或る人々からさへも聞かされたのである。

次に實際上の立場からしても、都市勞働階級と農民は――殊に日本に於ては――容易に共同戰線を實行すべき可能性が存して居る。即ち日本の資本主義は發達してより僅かに五十餘年である。(とはいへ帝國主義時代に入つてゐることは他の先進國と同じではあるが)從つて現在の都市プロレタリアの大部分は、最近農村より出た人であるから、これらの事情から日本の農民と都市勞働者の距離は他と比較して割合に近い。しかも日本の農村は人口の密集、土地の狹隘、交通の便利等より比較的容易に進歩思想が浸潤し易い。それが益々都市勞働者と農民の接近を可能にした。

且つ日本農民組合はその現狀に照らして、實際問題に照して急速に單一無産政黨の必要に迫られて居るのである。何故ならば、多くのブルジョア代議士は、地域的に農村に於て地盤を有するが故に積極的に農民組合運動の攪亂に對して攻勢を取りつゝある。即ち地主的農民黨などに依て。これを防止するために階級的政黨を一日も早く結成する必要がある。又農民が當面の經濟的負擔輕減のため小作料に於ては殆んど同程度に於て縣政或は町村政に於て苛酷なる租税の負擔の苦痛をなめてゐる。げに「農村は軍隊と租税の淵源なり」と嘆ぜられしが如き程左樣に、現在に於ても農民の租税は重いのである。この最も手近かな農民の苦痛を打破するために、充分なる政治運動の効果を、政治の上に實現する必要に迫られて居た。

この意味に於ても農民組合は速かに政黨組織の必要に迫られて居た。だから決して指導者の如何でもなく、左右兩翼云々の問題でもなく實に單一無産黨組織の必要に農民大衆それ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

自身の當面の切なる要求であつたのである。

この時、たま〳〵評議會等も單一無産政黨を提唱しつゝあつた。そしてこの偶然なる事實を捉えて支配階級は農民組合が極左派と通謀して單一無産政黨を唱へてゐるなどと云ひ出した。

二、農民組合に對する分裂政策

單一無産政黨は眞に支配階級にとつて恐る可きものである。されば彼等はあらゆる機會に於て單一無産政黨を破壞しやうとして居る。殊に農民組合が各團體の中間に介在して單一無産黨をまとめるべく活動するために最も好都合の地位にあるので自然支配階級の目的は先づ第一にこの農民組合を動搖させる事であつた。農民勞働黨結黨に至るまでの間支配階級はあらゆる惡宣傳を農民組合の上にした。

先づ第一に農民組合内に極左派が存在して陰謀をやつてるが如き宣傳を以て一般組合員を恐怖せしめようとした。而して農民組合内に左右兩派を無理に幻影の上に作りあげて、農民組合が分裂するであらふと云つた。事實あらゆる機會に於て農民組合の分裂政策を行はんとしたのであるが、ことごとく失敗に歸した。農民組合中央委員會は、この分裂宣傳は、農民組合の勢力を恐れる既成政黨や官憲が農民組合の勢力を恐れるの餘りこれを分割せんとするにあるとの聲明書を發し農民組合の基礎の確固不動を天下に明示したが、しかも尚ほ彼等のこの惡宣傳は執念に打續けられた。

我等は萬一、政黨を作るために農民組合が假りに二つに分裂しなければならぬとすれば、如何に必要に迫られてゐるにしても、寧ろ、當分政黨組織を見合はせた方がよいか、或は決して農民組合第一主義ではないのであるが、むしろ單一無産農民黨を當分組織すべきであらうと思ふ。

何んとなれば、現下の狀勢に於て如何なる犧牲を拂つても農民組合を分裂させることは不可だからである。

此の時に當つて、勞働組合が再起の政黨組織問題に於て、個人單位を主張し、且つ所謂左派組合の組合員は、一人も入黨させないと云ふ事の決議に贊成しないから農民組合は左派と通謀し、之に左右せられて居るとの論をなすものがある。かくの如き暴論はまたとない。如何なる組合とも何等の怨恨なき農民組合がある特定の組合乃至團體の會員の入黨を許さずと決議するが如きは、無産階級道德より見て斷じて認めることは出來ない。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

然るに農民組合がかゝる決議をしないから農民組合に左翼派があつて他の左翼派と通謀してゐるから農民組合が政黨組織に參加したいならそれ自身の左翼を除外して來いと云ふ態度は、是れ意識的と無意識的とを問はず、その結果に於て支配階級の分裂政策と協同戰線を張るものである。

三、政黨組織に對する二見解

農民組合が左翼を絶對に入黨させぬと決議するのでなければ、政黨はまた解散に定つてゐる。政黨を早く成長させるために、思ひ切つて政府と妥協しなければならないと主張する人がある。成る程、我々も出來るだけ早く政黨の樹立を希求するものである。そのためには政府の態度を考へなくてはならぬだらふ。そして若槻も無産政黨は禁止する意志はないと言つて居る。そこで我々は政府の云ふ事を信じて、政府の云ふ通り政黨を作つたら果してその結果は如何なるものであらふか。農民勞働黨がブルジョア政黨の綱領まで讓歩しても彼等は禁止したではないか。そして今度の經驗に依て見ても自己の思ふ儘に動く官製無産黨なら許可するといふのだ。けれ共官製無産黨ならば、それは最早無産政黨ではなくブルジョア政黨乃至はファスチストである。私が斯く云ふならば或る人は云ふであらふ「然し當分は政府の注文通りの政黨を作らなければ政黨は出來ないではないか」と。

しかし乍ら、吾々の政黨は全無産階級不斷の鬪爭に依てのみ獲得出來るのである。資本主義時代に入つてからブルジョワ議會が開設される迄、自由黨改進黨でさへも深刻なる苦鬪を續けたではないか。況んや無産階級が資本攻勢時代である今日に於て、ブルジョワ政府と何等の抗爭なくして、すら〳〵と行くであらふことは夢想だに出來ない。

然るに只の一回の蹉跌に壁易して政府のいふがまゝの政黨を組織せんとするならば、その前途、誠に知るべきのみである。

惟ふに、今日、政黨組織に對して二つの根本的に異つた態度がある。即ち鬪爭主義と協調主義である。もつと具體的に云ふならば、無産階級が獲得せんとするものが民主主義であるが、これを獲得せんとする目的は、左翼も中間派も同じである。たゞ、一方は無産階級の勢力を一個に集中し、ブルジョアとの鬪爭に依て獲得し樣とし、他はこの民主主義獲得のため支配階級内の進歩分子と提携しその恩惠に依らふとするものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四、結　語

今私は吾々の陣營内に二つの態度があるのを述べたがこの二つの點から農民組合の立場を論じて見たい。

近來尤もらしい議論がある。即ち、農民組合は最右翼大衆團體である。然るにそれが右翼と行動を共にしないのは、一部幹部が農民大衆の意志に反して左翼と通謀した結果だ。今に一部幹部を離れて最右翼陣營に來るだらうと。けれ共、この理論ほど笑ふべきものはない。勿論農民は保守的で封建的であるが、と云つて農民は協調主義には行かない。農民組合は實に白熱的鬪爭に依て今日の地位を獲得したばかりでなく、爭議のある毎度に組合員は加速的に增大し、鬪爭なき組合の地方では激減しつゝある。今農民組合が否農民大衆が、協調主義に陷つたその瞬間から、政友會或は憲政會の御用黨となり崩壞するであらふ。

來る十三日の委員會が順調に進むか破壞さるるか豫測することが出來ないが、どうしても單一政黨が不可能ならば、その妨害物の一切を排して他の友誼團體と共に農民勞働黨を組織すべきである。それも不可能ならば、退いて、單一無產農民黨を組織すべきである。

勿論、單一無產農民黨なる言葉には多くの人が反對するだらう。それは第一に農民組合第一主義であること。第二には如何なる右翼幹部と一緒になつて政黨を作つても農民自身で作るよりも危險がないと。

然し、勞働組合協調幹部の指導の下に政黨を造るならば、農民組合は、農民の保守的心理に依て遂にブルジョワの乘ずるところとなり、既成政黨と同樣になつて、その致命的打擊となる。

この意味に於て、吾々は萬一、單一無產黨不成立の場合は寧ろ退いて單一無產農民黨でゆき、一面に於ては組合內部の統一を圖り、支配階級の農民組合に對する分裂政策を防止し他面に於て組合內部の教育事業に集中し、組合內の封建思想を打破して、日常鬪爭の題目を提げて、都市プロレタリアと共同戰線をとる。そして、機會を捉へて、純眞なる勞働者黨と合併すべきであると思ふ。これは勿論、全國的單一勞農黨不成立の場合である。

附記　小作爭議で忙しい時間を割いたので、隨分不充分な點があらふと思ふ。兎に角農民組合の行先に對し輿論に問ひ度いと思つてこの拙文を書いたのである。（二月十日）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎日本勞働者と農民　手かせ、足かせ、猿轡、××××××××××××××、これで苦しけりや、この水を×××××××××××飲んだら最後××××××××××ある。

勞働黨の教訓

山川均

（一）

英國の下院に初めて勞働議員の選出せられたのは一八七四年であつた。これより先き、一八六〇年代の組合指導者は初めて議會に多大の注意を拂つたが、彼等の運動は、議會に勞働階級の代表者を選出することではなくて、謂ゆる控室運動であつた。即ち議會内の自由主義と急進分子を捉らへ、その力によつて勞働組合に有利な法律の通過を計ることであつた。そこで一八七〇年代になつて、兎も角も勞働議員と名のつく勞働者の代表が議會に現はれるに至つたのは、勞働階級の獨立した政治運動への一歩前進であつた。

勞働議員の選出は、勞働階級の獨立した政治運動に進む第一歩ではあつたが、この時なほ英國の勞働階級は、獨立した一個の政治勢力とはなつてゐなかつた。

一九〇六年に至つて、初めて今日の勞働黨が成立した。下院に最初の勞働議員が選出せられてから三十二年を經て、英國には初めて無產階級の有ゆる要素を包容する全國的な單一無產政黨が出現した。(それ故に、後進國たる日本の勞働者や農民が、いきなり獨立の一黨派を組織しやうとするのは、時機尙早であつて、決して賢明な方法でない。先づ最も進步的自由主義的な旣

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

成的政黨に這入つてゆくか、さもなくば現在の議會に於ける急進分子と提携し、その力によつて無產階級に有利な立法の獲得につとめ、若干の勞働議員、乃至は無產階級に理解と同情ある若干の議員の選出せられるのを待つて、それを中心として徐ろに獨立の政黨を組織することが、最も有利な方法である……。ブルジョア自由主義者のうちには、現に斯うした親切な忠告を、無產階級に與へてゐる人がある。また無產階級運動の陣營內にすら、これに近い考を抱いてゐる人がある。五十年前の英國の社會事情と、五十年後の日本の社會事情とは全く異つてゐる。英國の單一無產政黨は斯うして生れたから、日本の無產政黨も同じ徑路を踏まなければならぬといふのは、英國の勞働運動の初期時代には、勞働者の生活を脅やかすものは機械であるといふ考へから、工場や機械を破壞した時代があつたから、日本の勞働運動も、この時代から初めねばならぬと云ふのと同じであつて、これは驚くべき反譯思想である。反譯であるばかりでなく、直譯である。直譯であるばかりでなく、誤譯である。）

勞働黨の成立によつて、英國の勞働階級は、初めて獨立した政治運動の時代に入つた。この時以來、今日に至るまで、勞働黨は英國に於ける無產階級の大衆的政黨として、その政治勢力を指導する力となつた。一九二三年の總選擧では、勞働黨は一躍して下院の第一黨となり、勞働黨內閣が出現して、こゝに初めて無產階級の政黨が、九ケ月の間、大英帝國を支配した。これは勞働黨の滿潮期であつた。滿潮の時に、初めて潮の高さが知れる。マクドナルドも早く政權を握ることを助けるのが、やがて英國の勞働大衆をして、マクドナルドの眞性質を知らしめる所以だと云つたレーニンの豫言は、當つてゐた。九ケ月間の執政によつて、勞働黨が無產階級的指導精神ではなくて、全くブルジョア的精神によつて支配せられて居ることが明かになつた。勞働黨內閣の九ケ月は、勞働黨の現在の指導者の小ブルジョア的性質を、英國の勞働大衆の前に具體的に示した實物敎育であつた。昨年の勞働黨の大會(リバプール大會)が一歩退却し、勞働組合大會(スカボロー大會)が一歩前進して、勞働黨と、勞働黨のよつて立つところの組合運動との間に著しい距離を生じたのは、勞働黨の指導に對する勞働階級の信任の動搖を示したものである。英國の組合運動の最近の左傾は、根本的な經濟上社會上の形勢に基づくものであることは云ふまでもないが、勞働黨內閣の經驗が、少くとも有力な機會となつたことは疑ひがない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（二）

そこで英國の勞働大衆の間には、勞働黨の現在の指導に滿足せず、眞實に無産階級的の指導精神を求める要求が、電氣の如く擴ろがつて來た。この電氣は、勢ひ無産階級の尖端に集らざるを得ぬ。この尖端を代表するものが英國共産黨である。そこで英國の無産階級政治運動のうちには、勞働黨の多數派たる現在の幹部の指導と、共産黨によつて代表せられる左翼的精神とが對立することゝなつた。

マクドナルド以下の勞働黨の現在の指導者は、この左翼的精神は勞働黨の一致を攪亂し無産階級の政治勢力を弱めるものだとし、共産黨を勞働黨から排除しておくことが、左翼的疫病を豫防する最善の方法だと信じてゐる。從て彼等は、共産黨を勞働黨に加盟せしめることに反對するばかりでなく、勞働組合員の資格で當然勞働黨に屬してゐる共産主義者をも、地方支部から排除することに努めてゐる。これに反して共産主義者は、初めは勞働黨から分離する政策を取つたが、間もなく、勞働階級の戰線を分裂せしめる斯ような政策を改め、あくまで勞働黨の內部に止まつて、資本の攻勢に對して單一な戰線を維持すると同時に、左翼的精神によつて、黨の機關を握つてゐる小ブルジョア的分子と指導を爭ふ方針を取つてゐる。

英國の勞働階級が、獨立した政治運動の必要を覺つて勞働議員を選出し、勞働黨を組織した時分には、ブルジョア自由主義者は、英國の政界に於ける急進勢力を分裂させ、その力を弱めるものだと云つて非難した。勞働黨のその後の歷史は、その內部に包容する自由主義と社會主義とが指導を爭ふた歷史であつた。そしてマクドナルド等の小ブルジョア的社會主義が、自由主義に打ち勝つて勞働黨の指導を握つた。このマクドナルドが、今は共産黨によつて代表せられる左翼的精神の勃興によつて、その指導的地位を脅やかされてゐる。そして昔日の自由主義者と同じように、共産主義者が戰線の攪亂者であり、自分達が指導權を失ふことが、無産階級の勢力を弱めることだと信じてゐる。

勞働黨內閣の出現以前から、すでに斯ような形勢のうちにあつたが、九ケ月間の勞働黨內閣の執政により、現在の指導の小

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ブルジョア的性質が明かになり、その指導の下にある間は、勞働黨は畢竟、ブルジョア黨の最左翼に外ならぬといふことが知れ渡り、之に對する大衆の不滿がつのるにつれ、勞働黨內閣の倒れた九ケ月後には、この形勢は一層進展して居つた。從つてまた、マクドナルド以下現在の指導者が、左翼分子――特にその代辯者たる共產主義分子――を黨外に排斥しようとする決意は、一層斷乎たるものとなり、一層露骨なものとなつた。けれども之はマクドナルド以下、現在の小ブルジョア的指導者の指導力の動搖を物語つてゐるものに外ならぬ。左翼的精神が勢力を得て、勞働大衆が眞實の無產階級的政治行動に進出しようとすればするほど、勞働黨の指導權は彼等の手を離れようとする。彼等には、この左翼的精神と指導を爭ふ自信がない。そこで左翼と別れることが、彼等に取つては、その指導權を維持してゆく唯一の方法である。のみならず彼等に取つては、勞働黨の指導權は神聖な私有財產である。だから彼等と指導を爭はんが爲めに勞働黨に『潜入』して來る共產主義者と左翼分子は、彼等に取つては、疑ひもなくその私有財產を橫領しようとする惡むべき泥棒であり、胡麻の灰であつた。

(三)

一九二四年の總選擧は、勞働黨を重大な岐路に立たしめた。選擧戰の決勝的の瞬間に、かの有名な『ジノヴィエフ書翰事件』が突發した。卽ち、共產黨インタナショナル執行委員長ジノヴィエフが、英國共產黨に與へた訓令の書翰なるものが、反對黨のために公けにされた。この訓令には、英國に武力革命を起すべき計畫が記るされてゐた。この書翰が僞造の文書であることは、その內容と形式との上から、當時とて疑ひのない所であつたが、今日ではその僞物なることは、充分に證明された。しかしその瞬間には、この驚くべき文書の公表は英國の社會を震撼した。選擧戰の潮時を狙つて投げられたこの小さな石は、意外に大きな波紋を描いた(狼狽したマクドナルドの誤つた處置も大にそれを助けたが)。一九二四年の總選擧に勞働黨に投票した小ブルジョア分子は、ロシアの『魔の手』と『赤化の陰謀』に戰慄して保守黨に投票した。勞働黨は慘敗し內閣は瓦解した。

この總選擧は何を意味してゐたらうか。この總選擧を通ほして、英國のブルジョアジーは、勞働黨に何事を要求したらうか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

この總選擧は、英國のブルジョアジーが勞働黨の指導者に對して、『諸君が近い將來に再び政權に近づかうとするならば、諸君は先づ、好ましからぬ道連れと、きつぱりと手を切らねばならぬ、諸君は左翼と斷絕して出直さねばならぬ』といふ要求を發したことを意味してゐる。固より勞働黨の領袖は、近い將來に再び內閣を組織することを夢みてゐる。現に昨年の大會では、勞働黨は在朝九ケ月間の經驗に鑑み、議會の過半數を占める絕對多數黨となるまでは、內閣の組織を拒絕すべしといふ動議が提出せられたが、マクドナルド初め前大臣の面々は極力これに反對した。

これ(左翼と完全に分裂せよといふブルジョアジーの要求)に對して、英國の無產階級運動は二つの答をした。その一つは組合大會であつて、昨年の英國勞働組合大會は、『左傾』を以つてこの要求に答へた。大會は英國勞働組合運動史に急角度を描いたと云はれるほどに左翼的な政策を採用し、勞農ロシアの勞働組合と提携して、國際組合運動の統一的戰線を恢復して資本の攻勢に對抗する固き決意を表明した。

いま一つは、これも前後して開かれた勞働黨の大會であつて、この大會は、左翼少數派が相當努力はしたが、マクドナルド以下の指導者が尙ほ完全にこれを支配した。卽ち、大會は一方には、資本課稅の如き年來の政綱を引込めて、その主張を一層穩健にし、他方には、左翼との分裂政策を一層明白にした。卽ち幹部は依然として、共產黨が團體として勞働黨に加擔することを許さぬ從來の政策を續けるばかりでなく、更に一步を進めて勞働黨の地方支部は共產黨員の個人加入を許さぬこと、勞働組合は勞働黨の全國大會及び地方大會に、共產黨員を代議員として選出せざること、といふ二つの勸告案を提出し、大會は多數を以つてこれを通過したのである(但しこの勸告に從つた支部は殆んどないばかりが、續々、反對の決議をしてゐる)斯ように勞働黨の大會は、總選擧の結果に現はれたブルジョアジーの要求をそのまゝ鵜呑みにし、ひたすらにそのお思召に迎合した。卽ち、資本攻勢に對しては、政綱の緩和によつて一步退却し、ブルジョアジーの命ずるがまゝに、左翼の排除によつて戰線の分裂を計つてゐる。斯ように昨年の勞働黨大會は、反動的資本主義の攻勢に對して、ひとへに恭順を示したものであつた。

無產階級の戰線の分裂を計ることは、ブルジョアジーの攻勢の一部分であるが、それと同時に、無產階級の戰線が分裂した

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

時に、ブルジョアジーは充分な自信を以つて、攻勢に出ることが出來る。リバプールの勞働黨大會は、英國の反動的資本主義をして、全線の總攻撃に轉ぜしめる合圖の烽火であつた。裏切り者ユダが、接吻の合圖によつて敵を導き入れたやうに、勞働黨の指導者らは、リバプール大會によつて資本の總攻撃を導き入れた。英國の反動的資本主義は、少くとも無産階級の左翼と戰ふ場合には、無産階級そのものゝ陣營のうちに、有力な味方のあることを確めた。そして大膽な攻勢に轉じて來た。けれどもその爲めに傷づくのは、唯に左翼のみではなくて無産階級全體である。左翼を犧牲とすることにより、獨り良い兒になれると思ふほど、淺墓な考へはない。

(四)

無産階級の單一な戰線は、英國の無産階級に取つて主要な問題であるやうに、日本の無産階級に取つても——否な日本の無産階級に取つては、寧ろより以上に——致命的な問題である。

政府がさきに農民勞働黨を禁止した理由は、左翼的思想の反映により、乃至は左翼的分子の參加によつて、農民勞働黨は現行法律に反するものとなつた、と云ふことであつた。左翼思想と左翼分子によると否とを問はず、政府が民衆の結社を禁止する理由は、この結社が法律に反すると云ふ事實に存せねばならぬ。そこで政府が先に農民勞働黨を禁止した理由は——少くとも表面の理由は——その綱領と組織形態とが、法律に反するといふことにあつた。

然るに議會に於ける若槻首相の說明によると、政府は『眼光紙背に徹する方法によつて』農民勞働黨を禁止したものであつて、紙表に現はれてゐる理由——綱領と組織形態とが不合法であると云ふやうな——は、眞實の理由でないことが、大膽に告白せられてゐる。そこで日本の無産階級運動が、若し禁止の紙表をのみ見て之に反應するならば、その結果は、ブルジョアジーの欲するがまゝに、その思ふ壺に嵌つてゆくことゝなる。それは尙ほ英國の勞働黨が、總選擧の結果の紙表をのみ見て之に反應した結果として、英國の反動的資本主義のために、無産階級の戰線を分裂せしめる役割を演じてゐるのと同じである。政府は、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

紙背に徹する眼光によつて農民勞働黨を禁止した。日本の無產階級運動は、この禁止理由の背後にあるブルジョアジーの眞實の企圖——禁止の紙背——を見て、これに反應して行動しなければならぬ。

農民勞働黨の禁止に對して、日本の無產階級運動は、如何なる反應を現はしたであらうか。これは今日、尙ほ明確に知ることが出來ぬ。なぜならばこの反應作用は、今尙ほ進行してゐるのだからである。けれども少くとも、一つの誤りのない事實を擧げることが出來る。卽ち農民勞働黨の禁止は、日本の無產階級運動の一部分が、左翼と斷絕しようとする決意を强めたことである。この點に於てブルジョアジーは禁止理由の紙背に匿してゐる眞實の目的の大部分を遂したものである。ブルジョアジーが眞實に恐れてゐるものは、無產階級運動の左翼ではなくて、右翼との結合であり、單一の戰線である。無產階級が單一な戰線を形造つてゐる間は、ブルジョアジーは少くとも無產階級そのものの陣營の間に、眞實の協力者を求めることは出來ぬ。政府は農民勞働黨の禁止により、少くとも無產階級運動の或る部分に、吾々の政黨の組織を妨げてゐた障害物は、ブルジョアジーではなくて左翼である、少くともこの障害物を排除して、吾々の政黨運動を成功せしめる上には、政府は吾々の敵ではなくて、眞實の協力であると信ぜしめることに成功したのである。

斯ように農民勞働黨の禁止によつて、日本のブルジョアジーは、無產階級運動の分裂主義に、有力な基礎を與へたものである。卽ち日本のブルジョアジーは農民勞働黨の禁止によつて、英國のブルジョアジーが一九二四年の總選擧によつて成就したことを成さんとし、また或る程度まで成し遂げたのである。日本の資本主義は、今や大膽に攻勢に轉じることが出來る。

然しながら農民勞働黨の禁止に對する無產階級の反應作用は、今尙は隨所に展開しつゝある。單一無產政黨は、禁止によつて決定的に敗れたものではない。

最初のボルセイキ新聞

オリミンスキイ

×

一九〇五年までは露西亞に於てボオルセイキの黨機關紙はただの一つもなかつた。僅かに「小型新聞」があつつたばかりで、それさへも範圍は極めて限られ、發行部數も・ごく僅かななものであつた。しかし、他の政黨、並に、それに屬する團體は、何れも外國で發行するものではあつたが所屬機關紙を持つてゐた。その中には、例の『イスクラ』紙があつた。同紙は、曾つて、レーニンや、その他の同志によつて創められたものであつたが共後、メンセイキの手に渡つてからと云ふものは、レーニンを始めボルイセキ黨員に對して、散々に冷水を浴せかけてゐたものである。

×

一九〇四年の終り頃、吾が黨の多くのものは、とう〳〵それに我慢が出來くなつた。そして國外から『前衛』を發刊した。『前衛』の創刊號が出たのは一九〇五年の一月四日で、メンセイキに對する挑戰を宣言し、レーニン、並にウオロフスキイの論文が掲載された。この機關紙は第三回民主黨大會の大會召集には尠からず、あづかつて力があつた。メンセイキはこの召集に反對して、極力闘つたが、大會が開かれた時、彼等は一人もそれに出席しなかつた。

黨大會は、機關紙『プロレタリヤ』を發刊し、冐頭に『露西亞社會民主主義勞働黨中央機關』とすることを決議した。その創刊號が一九〇五年五月廿七日に發刊され、それによつて『前衛』は廢刊となつた。

『プロレタリヤ』はその同じ年の十一月廿五日、二十六號で廢刊となつた。（最近になつて『前衛』並に『プロレタリヤ』は兩方とも、あまり附言や、序文もつけ加えずに、その儘のものを、國立出版局から改めて發刊されることになつた。

×

その後有名な十月全露西亞政治罷行の後『自由の旗』と改題されたが、更めて、

眞正ボルセイキ機關紙『新生活』として昔のペテルブルグから發刊されることになつた(それは十二月まで繼續した)、それと同時に『自由の旗』は極めて僅かの生命を以つて終つた。

『新生活』もまた同樣に國立出版局の手により表題をかへ『激浪』として發行されることになつてゐる。が、昨年十二月までには未だ發行されてゐない。なほそれにはクラシン氏の『「新生活」は如何にして起つたか』並に、イ・エイ・グコフスキイ氏(編輯顧問)、とエイ・ゲー・スミツテン氏(營業副主任)の追想記斷片が掲載される筈である。

×

同志クラシン氏は當時黨の執行委員の一人であり、彼に『新生活』の全機關が委ねられたのであつた。

先づ第一に必要であつたことは、發刊に對して許可權を持つてゐる人間を見付けることであつた。世間から知られてゐない屬官乃至は、その新聞に對して好感を持つてゐない役人によつて、それが得られないことは解り切つてゐた。

それが爲めに黨に關係のないミンクスと妥協する必要に迫られた。彼は既に發行權を持つてゐたからである。

×

編輯部員の構成は、契約によつて我等側から六名、同樣にミンスク側から六名とされた。我々側からは、レーニン、ウオロフスキイ、オリミンスキイ、バクダノフ、ルーミヤンチエフ、並にクラシンの諸氏が撰ばれた。クラシン氏が私に寄せた私信によると、彼は單に名義だけであつたが『それにも拘らず私は數回編輯會議に出席した』とのことであつた。

×

實を云ふと、編輯は我々側六名によつて占領してゐたのと同然だつた。ミンスク側に對しては『今直ちに彼等を追出ても都合が惡るからう、もうしばらく、彼等と共同事業を繼續する』ことにした。そのことを、特に主張したのが同志クラシンであつた。

同志レーニンは事實上編輯主任の格で、同時に、最初の一期間に於ける政治的指導方面の仕事は殆んど彼の手によつて完成された。彼は同新聞をして、革命への直接機關並に吾が黨の組織に利用することに成功した。

×

機關紙が何故に、急據、發刊されたかに就いて、同志グコフスキイは、全露西亞政治總罷業のその夜のことを語つてゐる。

十月十七日(舊暦)ボルセイキ團體の編輯に關する會議が、同志の一編輯部員の私宅で開かれることになつてゐた。一同は非常に遲れて出席した。彼等は午後の十一時頃に、高價な用紙に、その時刷り上つたばかりの、皇帝の宣言書を持ちこんで來た。

編輯會議は、そこで、不取敢、勞働者に對する左の如き檄文を草案した。

『勞働者をして闘ひを續させるために檄

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

動すること、並に皇帝の宣言書は、勞働階級の勝利には縁の遠いものであることに就て警告すること』

×

それは事實その通りであつた。

『新社會』創刊號は押收され編輯者は、この第一號の附錄に、黨の網領を挿入した理由で起訴された。

私とルニヤンチエッが、恰度、新聞發送のため社に居ると、忽ちに檢束され、それを手傳つた廉で、多數の勞働者にまで、魔の手は延びた。

×

それは、たまたまロシヤ全土に亘る政治罷業の際とて、何の印刷所も、仕事を續けるものはなかつたので、所謂、『獨裁政治廢止の皇帝宣言』原文のまゝ逸早く流布したのは、吾がボルセイキの機關であつたからである。

×

機關は、それでも兎も角、第三號まで、(十二月十六日附)經續されたが、十二月三日には、檢察官と警察吏が印刷所に現はれて、新聞社の『解散』を命令した。

×

その後、表題を換えては再刊を企てて見たものゝ、モスクワ暴動後の暴壓政策の下には、何れも忽ち禁止、押收、起訴の危に逢ふて、吾々の機關紙は失はれた。

かくて、一九〇五年は過ぎた(佐野英)

次號豫告

(四月號)

ロカルノ會議後の國際政局……大山郁夫
日本資本主義と産業革命……野呂榮太郎
我國勞働組合運動の組織事業……山本懸藏
各國末組織、組織の諸經驗……猪俣津南雄
支那勞働組合運動の現勢……鄒兆先
五十一議會關税改正と資本閥系統の抗爭……鈴木武雄
市町村財政講話(一)……橋本貞市

その他勞農運動、婦人運動の批判と指針、西歐、支那、朝鮮プロレタリア運動の紹介……等々。

次號の充實、豐富、また期して待つべきものがあらう。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

極東無産階級の共同戰線

安光泉

一

現在我等の運動上、非常に有力な一つの標語が次第に有力に叫ばれつゝある。極東無産階級の共同戰線と言ふ標語が即ちそれである。今や、此の叫びは日本の有力なる各組合からも聽え、中國の團體からも聽える。そして日本にある我等朝鮮の無産者諸團體は既に前から、この叫びを擧げることに於て最も熱心なものであつた。

此の問題は勿論前からも少數の社會主義者によつて提唱されたことがないでもない。加之又不完全なものではあつたが、極東勞働大會なる具體的のものゝ開かれた例さへもあつたにはあつた。しかしながら、それは決して大衆の自發的それではなかつた。しかるに今日、此の問題を問題とする主體が大衆團體であり、自發的に大衆自身が之れを問題とするに至つた。今叫ばれつゝある極東無産階級提携に關する問題が特に劃期的重要性を有つてゐる所以は玆にある。

極東無産階級にあつては、世界的國際的團體に參入すべきことの外に、もう一つ重要なことがある。日本帝國主義と戰ふために、日本の無産階級と日本帝國主義の壓迫下にあるところの極東の各植民地及び半植民地の無産階級（私は以下その代表的のものとして、中國及び朝鮮の無産階級を擧げる）とが中心となつて、極東の共同戰線を張るべきことが即ちそれである。世界的現狀から、又吾等の鬪爭の發展階段の今の狀態から考へる時、此の極東的團結の重要性は、世界團結の重要性に劣るものでない。否、或る意味に於ては、前者が後者の豫備條件として、當面的重要性が却つて大きいかも知れない。

今吾等の間に叫ばれつゝある極東無産階級の共同戰線と云

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふ問題は斯くの如く重要性を有つてゐる。そして斯の如く重要な問題が有力な問題となつたことは確かに吾等の勝利がもう一歩近づいたことを語るものである。

然るに此の問題は、先進國の民衆と後進國の民衆、云ひ換へれば、壓迫國、搾取國の民衆と被壓迫國、被搾取國の民衆との提携にかゝるものであるから、それを論ずるには自ら民族問題に觸れることになる。

二

之れを先づ一般的に見やう。

資本家社會は、各々その自國内の勞働階級を搾取することなしに存續することが出來ないと同時に、又植民地及び半植民地を搾取することなしには存續することが出來ない。現代の世界的革命運動は抑々此の矛盾から出發したものである。故に現代の革命運動には二種類ある。一、先進國内に於ける勞働階級の解放運動、二、植民地及び不獨立國に於ける大衆の解放運動が即ちそれである。

此の兩者は何れも現代の資本主義即ち帝國主義に對する勇敢な××××××である。そして其の内容に於ては前後兩派の間に差異があるが、世界革命に對する役割の上から言ふならば、兩者は共に重要である。即ち前者は歴史的代表的階級たる訓練された現代勞働者階級を中心とする運動たること及び社會的教養の發達により一般大衆の階級意識が比較的に高調である點に於て資本家階級の强敵であり、後者は代表的近代的勞働階級は比較的に發達しないが、其の政治的壓迫及び經濟的搾取に對する叛逆性が驚くべく猛烈なること、及び農民階級までが喜んで革命運動に參與することを常とする點に於て、壓迫國搾取國の資本階級の强敵である。然るに此の植民地及び半植民地の解放運動は、たいてい初めは純粹なる民族的要求から出發するが、それは必ず内容が轉換されて無産階級の運動の形を取る至るものである。

之れを資本家階級の側から見るならば、彼らの存在を支持するものに、その初期に於ては自國内で搾取される利潤であるが、後期に於ては尨大なる植民地及び半植民地より搾取される大規模の利潤である。故に帝國主義の列國に於ては、植民地及び半植民地は、その興亡がよつて以て定まるところの最後の力の泉である。

故に例へ經濟的行き詰り及び本國内の無産階級の擡頭によつて、本國的の柱が弱くなるにしても、植民地及び半植民地的の柱さへ强ければ、資本主義は決して倒れるものでない。しかのみならず帝國主義列國の資本家階級は、植民地及び半

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

植民地から搾取される尨大な利潤のお蔭で、自國內の無產階級から來る攻撃を緩和することも出來るのである。即ち彼等は外地の民衆から民取する利潤を以て內敵に對して一歩〳〵の讓歩をなすことの出來る餘地を作るのである。

故に列國の資本家階級は今やこれらを克服するために全力を盡しつゝある。

於是乎、吾々は次の如く斷言することが出來る。資本主義、殊にその最後の形態たる帝國主義は、獨立國の民衆及びその隷屬國民衆の共同の敵であつて、兩種の民衆はその共同の敵と鬪ふことに於て全く一致する利害關係に立つものであると。壓迫國、搾取國の民衆にとつては、その母國の壓迫、搾取下にある隷屬的民族がその帝國主義的壓迫、搾取から分解放されることは、自家階級の勝利の最大條件である。同様に被壓迫國、被搾取國の民族にとつては、彼等を支配してゐる國の無產階級がその國の資本家階級と戰つて最後の勝利を得ることは、自己民族の解放の最大條件である。故に吾々が若し勝利を慾するならば、否早く勝利を得んことを慾するならば、獨立國內の民衆運動と植民地及び半植民地に於ける民衆運動は須く相支持せねばならぬ。進んでは相提携してその共同の敵に肉迫せねばならぬ。

三

之れを更に吾々の目前の具體的事實から見やう。

日本の無產階級は日本の資本家階級と鬪つて、短時日の間に能く多くの成功を收めた。吾々はそれに對して讃辭を惜まない。しかしながらその戰鬪舞臺が常に日本と云ふ島の中に限られてあつたことは隱すことの出來ない一大遺憾である。

今日、日本の無產階級が如何に勇敢に鬪つても、其の攻撃が國內に限られるならば、凡ての鬪爭は成功することが出來ない。されば進んで敵の外的勢力を攻めると同時にそれに對する同盟者を求めなければならぬ。

日本の無產階級にとつて喜ばしいことではないか。彼等が求めなければならぬところの加外同盟者は既に前から有力な勢力となつて現存してゐる。そして猛烈な運動を續けてゐる。例へば中國の民衆が是れであり、朝鮮の民衆が是れである。臺灣の民衆も或る程度までそれに達してゐる。彼等の運動は皆日本無產階級が對抗してゐる所の、日本の帝國主義に對するものであり、且つ皆××的である。勿論初期に於ては偏執な民族的感情に驅られたところが多かつたものであるが、現今に至りてはもう既に變つて無產階級的陣營となつたのである。四億民衆を有する中國はもう『睡れる獅子』でないことは、近年來のあの排外運動、殊に昨年のあの流血を伴つた大同罷破工が既に證明したではないか。二千萬の民族を乘せた朝鮮も決して永遠の覊絆に拘束されるべき『虎』（朝鮮

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

半島は虎の形に似てゐる)でない。それは解放されんが爲めに、一九一九年來幾多の××××を拂つてゐる。日本の無産階級は之等の勢力を等閑に附してはならぬ。之等の勢力と提携して、日本の帝國主義の外的支柱をぬくにあらざれば、日本階級の解放は殆んど不可能である。故にマルクスは『他民族を壓迫する民族は自己の解放をもなすことが出來ない』と云つた。事實に於てもロシア無産階級の勝利が此の關係をよく證明してゐる。スタリンが云つだやうに、『ロシアプロレタリヤが舊ロシア帝國の下に於ける被壓迫民族の同情と支持とを得なかつたならば、××は成功しなかつたであらう。これなくしてはソビイエツト××を確立し、眞のインターナショリズムを啓蒙し、ソビイエツト社會主義共和國と名のつく民族的協同團體のこの價値ある組織を作り上げることは不可能であつたであらう。』

斯くの如くして、先進した日本の民衆は後進の諸隣在同伴者を導いて共同戰線に導く義務を有してゐるものである。

更に之れを中國及び朝鮮等の民衆から論ずるならば、吾々が舊歐州大戰後から××××の機運に應じて共儘的鬪爭を始めて以來、今日まで戰ひ取つたところは決して少なくない。勿論吾々は運動の初期に於ては、無産、有產を擇ばず日本人であれば之れを一律的に排斥したこともある。それは吾々の初期運動が主として中產級級以上の智識階級に指導されたこと及びその當時に於てはブルジョアの欺瞞的マトンに包まれてゐるところの現代社會のからくりに對する吾々の認識が不充分であつたことによつたもので、從つて避くべからざる過程的のものであつたのである。しかしながら吾々は鬪爭中に於て眞の敵を見出すことに成功した。敵は同胞中にもあり、兄弟は敵中にもある。中國の民衆の敵は列國の資本家階級(此の文では日本の資本家階級のみを取扱ふ)及び中國の資本家階級であり、朝鮮階級の敵は××の資本家階級及び朝鮮の資本家階級であつて、日本の無産階級は、中國の民衆、朝鮮の民衆の味方である。吾々が解放されるにしても、それは無產階級的解放でなければならぬ。有產階級的解放であつた場合には、それが如何に世界的革命には有利なことであらうとも、それは吾々當該無產階級を滿足させるものでない。故に吾々は、同民族中の資本家階級との共同戰線よりも、同一の資本家の壓迫下にある各國無產階級との共同戰線を張らねばならぬ。此の提携は固り吾々に民族的損害を與へるべき何物もないが、たとひそれがあり得るにしても、吾々は大のために小を犧牲にするだけの精神を有せねばならぬであらう。

(未完)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

資料

ブルジョア政黨の資本系統

鈴本茂三郎

資本閥の諸形態

一

資本閥の典型的なものは、三井、三菱、住友、藤田、古河安田、大倉などであらふ。これと並んで明治革命後、官僚(封建的政治勢力)との結托によつて、資本力を強大ならしめたものに、淺野、村井、森村その他があるが、淺野は振はず村井は村井鑛業(資本金三百三十萬圓)村井貿易(三〇〇萬圓)村井銀行(一〇二五萬圓)に據つて、他の資本閥に依存し、森村は三菱財閥の支配下に移つた。

この外、東京には若尾、雨宮の甲州系閥、澁澤を中心とする龍門社、川崎八郎右衛門があり、關西に總本部を置くものには、鈴木財閥、商船系、片岡系、京阪電鐵(資本金五〇七七萬圓)三重合同(二七六二萬圓)新京阪電鐵、京阪土地を根據とする岡崎邦輔の一勢力がある。

甲州系財閥は、若尾系、雨宮系、小野金六、根津嘉一郎、大川平三郎、田中榮八郎、櫻内幸雄等を代表者とする。龍門社は資本閥の元老たる澁澤同族とその資本を集中する第一銀行、東洋生命保險を中心に、堀越善十郎、白石元次郎、甲州系の大川、田中の兄弟の一團である。關西の商船系は、中橋德五郎を總裁とし山岡順太郎、範田龍太郎、田中一族などが手先で、中橋は藤田の姉婿であり、堀啓二郎をとほして住友にも一脈のつながりをもつ。

これらの外、電力界を從斷する新興財閥に、福澤桃介(大同電力系)松永安左門(東邦電力系)があり、彼等は、甲州閥龍門社から獨立して資本閥範型を形成するに到つた大川田中と共に、新興の產業資本閥であり、東邦電力系は、縱と横の產業的結合に發展しつゝある。

二

これら資本閥の特質は、金融資本(銀行及び信託、保險)と產業との完然なる結合と、その產業的資本を重工業に集中した點にある。

それ故に、わが資本主義は、早くから帝國主義的のかたち

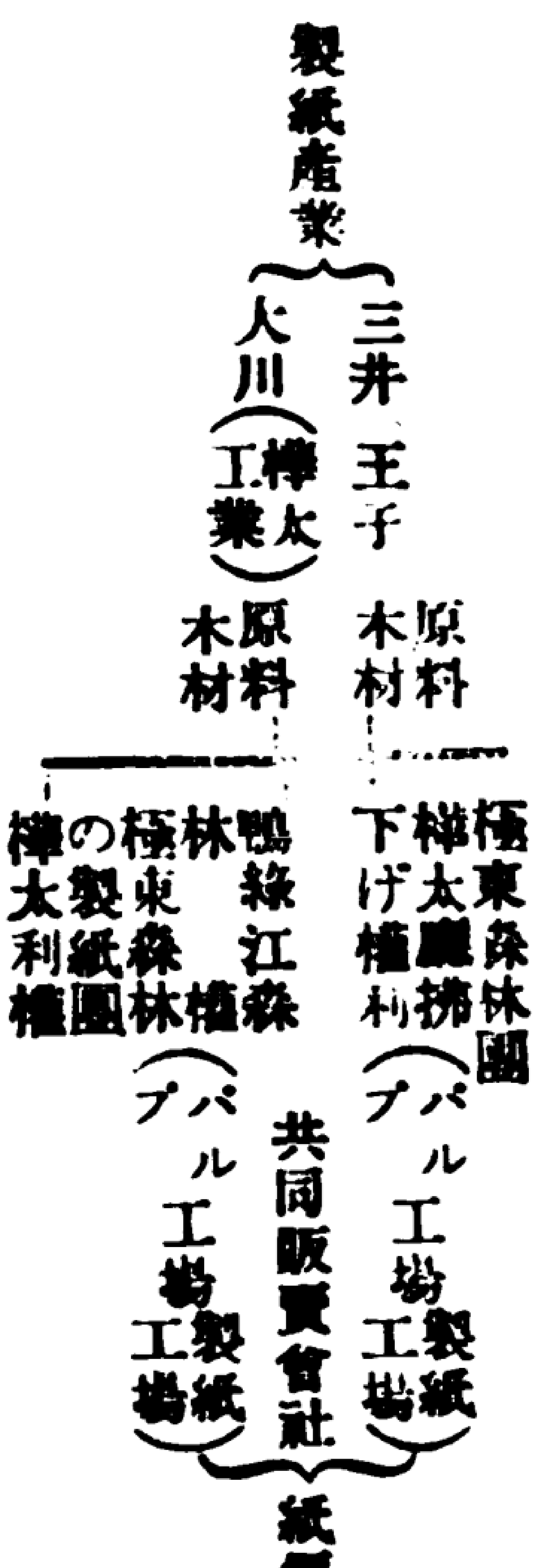
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

を執つたが、三井、三菱、住友、古河、藤田はもとより、村井、淺野は、かくの如き型にはまる金融資本家である。川崎安田はそれとは違つて、産業的資本を伴はない。從つてそれ自體は生産行程に於て生ずる剩餘價値を直接取得せず、單に利子のかたちで取得する金融資本家である。尤も安田は、手固い遣り口に於て、多くの産業を支配してはゐる。が安田の資本力の主力は、貨幣の貸付にある。ことは確だ。

しかるに、金融資本を伴はず、從つて金融資本に依存することを多くは餘儀なくされたる産業資本家に、商船系、片岡系、甲州系、大倉、大川田中、福澤、松永等々がある。このうち甲州系の若尾財閥は、小規模ではあるが、銀行による貨幣資本をも擁し、また大倉は、彼の産業資本の大部分を、軍隊の警戒裡に、支那、滿州、朝鮮に輸出し、産業の重心を、重工業に置くが爲めに、三井、三菱その他の帝國主義的財閥の如く、彼の資本力は戰鬪的である。これに反し、ひとり鈴木系財閥は、資本形態の廣汎、雜然たる點で、異彩をはなつかの如くに見える。けれども、彼は商工業資本家に近い。されば彼は不況に當面するや、産業資本の、本店引き揚けを行ひつゝある。

三

次きに、三井、三菱、住友、古河等は、財閥それ自體が、完全に近いほどの企業結合をなしてゐる。住友の銀行製銅電線販賣（住友合資）古河の銀行鑛業製煉製造所（伸銅、電氣化學、電線）販賣（古河合名）、三井の銀行、鑛業（鐵）造船、電機販賣（三井合資）、三井の銀行、信託鑛山、（鐵、石炭）電機、製銅販賣（三井物産）は、縱の結合を示すものである。



製紙業は、二つの産業資本による横の結合を示すものである。

資本閥は、かくの如く、財閥團のうちに、産業的結合をなし、また財閥の一部をなす産業に於ても、完全結合、合同に發展する機構を示す。さらにそれだけではなく、次きの如き企業聯合（又はカルテル）に於て、金融、産業資本閥は屢々協力により同一産業の支配權を把握してゐる。

金融、産業資本家の企業聯合

	目的	代表的支配者
生糸　中央會	製糸業者の生産制限、市價協定	牧野忠篤（研究會）志村源太郎（三菱）武藤金吉（政友會）
茶業同業組合	市價協定	中村圓一郎（上院議員）
紡績聯合會	生産制限	武藤山治（三井系）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

棉花同業會	運賃協定	三井及喜多又藏
糖業聯合會	價格、生産の協定	山本悌二郎（三井）
製粉聯合會	關税改正	岩崎清七（鈴木系）
人造肥料聯合會	——	田中榮八郎 甲州系）
過燐酸同業會	價格協定	田中榮八郎（甲州系）
釀造酒類聯合會	生産、價格協定	田中榮八郎（甲州系）
セメント聯合會	生産、價格協定	淺野總一郎
産銅組合	關税引上	古河、住友、久原
製鐵同業會	企業合同	三菱、三井、大倉、滿鐵
電氣協會	不完全聯合	甲州系、松永
硫酸販賣會社	價格協定	————
羊毛聯合會	———	藤田謙一（鈴木系）
製麻聯合會	共同販賣	安田、甲州系
製紙聯合會	生産、價格協定	三井、大川系、三菱
露領水産	對露利權	酒井忠亮（研究會）堤清六

政黨の階級的構成

一

明治三十三年九月の立憲政友會の結黨は、三井と伊藤博文大正二年三月の憲政會の前身なる立憲同志會の組織は、三菱と桂太郎、資本閥官僚との公然の政治的結合であつた。しかし資本閥の發達は、政治的構成を變化させずには置かないやうに、その後政黨内に蟠居した官僚勢力は資本閥のために克服され、黨外に於ける官僚的勢力—元老、樞密院、貴族院—はなほ官僚的封建の殘存力を固持し居るも、資本閥の擁護なしには存立をゆるされない。西園寺侯をあやつれる住友財閥を見よ。治安維持法制定の黒幕のうちに、三井と樞密院の交合を見よ。

今や政黨は、完全に資本閥のいづれかの手裡にある。各資本閥は、その産業資本の産業的種別の相異（金融資本閥　商業資本閥、産業資本閥—重工業資本家、輕工業資本家、殖民地的資本家等々）による、經濟的の利害を政治的の利害と、完全に一致させるがために、それ〴〵の經濟的利害を代表する政黨の支配をなす。政黨對立、政黨の合同、分裂は、彼等の利害の合同分裂の反映である。

しかるに、既成黨政が、據つて立つところの經濟的地盤を政友會、政友本黨は農民、憲政會は都市商工階級、新正クラブは中産階級の、それ〴〵の利害を代表するものであるかの如くに、選擧區關係から見えないことはない。

第十五回總選擧得票割合

	郡部	市部	總投票
政友會	九三%	九%	六六一、三五五票
政友本黨	九二	七	七三二、一八二
憲政會	七二	一五	八六九、〇二八
革新クラブ	七五	二五	一八二、七二〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其　他	七八	二〇	五〇五、九〇五

備考、島嶼は郡部、市部の判明せざる北海道區を除外す。

この數字には、少くも三つの事實が、大衆の前に隱蔽されてゐる。

第一は農村（郡部選擧區）に於ける地主階級は、土地資本の利潤の低下と地方的工業の發達につれて、彼等はいつの間にか、産業資本家になりすますが、さうでないまでも、多くはもはや純然たる土地資本家ではなくなつた。かゝる土地資本の産業資本化の形勢を看取し、産業資本家の政治的利害を、貴族院により強く代表せしむることが、政友會、憲政會の主張した貴族院改革の目的であつた。それは多額納税議員の増加により、目的を遂げて貴族院改革のふたを閉ぢた。

云ふまでもなく、地方選擧區は斯くの如き産業的資本家の支配下にある。

第二は郡部選出の代議士を見よ。代議士の職業別による專農のものは、第一回選擧當時の百廿九人が、第四回百五十五人、第十回百五人、現在五十六人に過ぎない。これを除く郡部選出議員三百二人の多數は、地方的金融、産業資本家か、資本閥　閥族の餘類か、然らずとするも産業的資本家の利害の代辨業をなすものである。

それは長野縣郡部の小川平吉が、製絲家の産業資本を代表し、政友會總務東武、本黨總務榊田清兵衛、憲政會總務櫻瀨軍之佐等々が地方的産業資本を背景とするが如くである。

第三は政黨構成のからくりである。いづれの政黨も大幹部獨裁の仕組みをなし、これを一糸亂れさる結束と稱する。資本閥はそれ故に、大幹部を指示するだけで、鞭の動くまゝに政黨をあやつてゐるが、大幹部に資本閥の意見が投げられると、先づこの意見を尤もらしく理論づけるものは、各政黨の政務調査會なる怪しげなもので、野黨たる政友會の政務調査會長は三井財閥の代表者山本悌次郎であり、本黨は甲州財閥の櫻内幸雄が御用をつとめつゝあるに見ても、それがいかに怪しげなものであるかゞ分る。

之等の、大衆の前に隱蔽されたる事實は、既成政黨が、ブルジョア黨であり。また資本閥の政治的執行機關たることを示す。しかしすゝんで政黨の費用の出資者が資本家であることとを突き止めたならば、右やうの事實は一層明白とならふ。

けれども政黨の會計くらひ、不可思議なるものはない。幹事長又は會計監督と雖も知るに途なく、一黨の年經常費は三十萬圓乃至五十萬圓前後であらふが、このうち幹事長會計監督の手腕によつて獲得し、從つて彼等の知り得らるゝ程度は僅かに五萬乃至十萬圓を出でない。その他は資本閥の貢納金又は闇の手からはこぼれる所謂珍品にて處辨されてゐる。殊に總選擧にのぞんでは、各政黨の選擧費用は、一黨二、三百萬圓を下だらず、その大部分はもちろん資本閥が負擔する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

次ぎの數字は內務省調査のものであるから、實際の所要選擧費は、その二、三倍にはたらふ。

	候補者數	選擧運動費	一人平均
大正四年	六一〇人	四、九七六千圓	八、一五八圓
六年	六二九	五、三四四	八、四九四
九年	九〇〇	二一、八二三	二四、二四八
十三年	一、一〇五	二一、九一〇	一九、八二九

政黨と資本閥

一、憲政會系の資本閥

A三菱財閥と仙石貢、三菱と憲政會の關係は、加藤高明が總裁となつてから、確然と結びついたが、憲政會の仙石貢（鐵道大臣）が、常務擔任者として聯絡をとつてゐる。仙石はもと鐵道省總裁のとき、鐵道用品の御用商人たる三菱との關係をつけた。

三菱財閥

一、金融資本

	總資本金	拂込資金	配當率
三菱合資	一二〇〇〇萬圓	一二〇〇〇萬圓	—
三菱銀行	五〇〇〇	三〇〇〇	一〇
東京海上	三〇〇〇	三〇〇〇	二〇
明治火災	一〇〇〇	一〇〇〇	三〇
東明火災	二〇〇	一〇〇	四〇
明治火災	二〇〇	八七	二四
第百十銀行	七〇〇	三三八	一〇
三菱海上	五〇〇	一二五	一〇
小計	二二六〇〇	一九六五〇	

二、重工業資本

三菱鑛業	一〇〇〇〇	六二五〇	八、
三菱製鐵	二五〇〇	二五〇〇	—
三菱造船	五〇〇〇	三〇〇〇	一〇、
三菱電機	一五〇〇	九〇〇	四
三菱燃機	五〇〇	五〇〇	一〇
日本窯業	二二〇〇	二二〇〇	一五
小計	二一七〇〇	一五三五〇	

三、雜工業資本

三菱商事	一五〇〇	一五〇〇	六
三菱製紙	一〇〇〇	八〇〇	不明
旭ガラス	一二五〇	六八七	二〇
明治製糖	三七五〇	二四三〇	一六
キリンビール	一〇八〇	八〇〇	一五
日本郵船	一〇〇〇〇	六八七一	八
三菱倉庫	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇
小計	一九五八〇	一四〇八八、	

四、傍系の一般

日華製油、橫濱生糸、菱華倉庫、久保田鐵圖、樺太木材

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

共同運輸、其他

B片岡系財閥と直溫　商工大臣片岡直溫(息安)と、兄の直輝(息直方)の財閥は、大阪ガス、阪神電鐵、日本生命を主力とする。

片岡閥の寄生的政商に、大阪株式取引所の島德藏、貴族院議員島安次郎の一派がある。島は政治的には政友會と握手し經濟的活動には片岡の財閥を逆用して來たが、政友會が政權を離れるや島は憲政會政府にたゝきのめされた。

片岡財閥の巨塊たる直溫は、彼の財閥のために商工大臣として先づ何にを爲したか。

1　生命保險會社に積立金の積立方法の變更、各會社資産の公表を命じた。これは片岡財閥の日本生命の擁護を目的とする。

2　ガス事業法改正にあたり、内務省と抗爭して監督權を商工省にも獲得したが、これは都市々民の利益を目的とする市と會社の報償契約に對し、ガス會社が商工大臣の裁量にて契約の破棄をなすことが出來る。卽ち片岡財閥の大阪ガスは、これによつていつでも大阪市との契約を破棄して增配が出來ることとなつた。

片岡系財閥

一、片岡直系

	總資本金	拂込資金	配當率
阪神電鐵	三〇〇〇萬圓	二六三五萬圓	一三
大阪電軌	四〇〇〇	一七九七	一二
大阪ガス	一七〇〇	一二九三	一〇
神戸棧橋	九〇〇	七〇五	
日本生命	三〇〇	三〇〇	二五
南海鐵道	七〇〇〇	三四六〇	一三
	一六九〇〇	一〇一九〇	

二、寄生的島系

大阪株式	四五〇〇	二九五〇	六・五
大日商事	三〇〇	七五	一〇・
上海取引	一五〇〇	七五〇	—
豐口火災	三〇〇	七五	一二

城北土地、日米板ガラス、島貿易、關西信託

C　1　財閥を形成するには到らないが、横山章、早速整爾森盛一郎、增田義一等、稻門クラブの早稻田派も、憲政會の產業的地盤である。

2　内藤久寬の(貴族院議員)日本石油、(資本金八千萬圓)新潟鐵工所、(四百萬圓)もまた、憲政會の有力なる財閥根據地である。

3　古河の理事長昆田文次郎は、古河の政友會的色彩を湖塗すべく屢々憲政會の御用を勤務してゐる。

二、政友會系の資本閥

A三井財閥

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

	總資本金	拂込金	配當率
三井信託	三〇〇〇〇萬圓	七五〇〇萬圓	七、
三井合名	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	—
三井銀行	一〇〇〇〇	六〇〇〇	一二
三井物產	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇
東神倉庫	一五〇〇	九五〇	—
王子製紙	六〇九一	三八〇六	一五
小野田セメント	一四八〇	八四五	一〇
臺灣製糖	六三〇〇	三八一〇	一二
電氣化學	一六五〇	一一九〇	一〇
セルロイド	一〇〇〇	一〇〇〇	—
大正海上	五〇〇	一二五	八
三越呉服店	一五〇〇	九〇〇	一二
豐田紡織	三〇〇	一七五	不明
熱帶產業	六五〇	四五五	二〇
三井鑛山	一〇〇〇〇	六二五〇	七、
北海道炭鑛	七〇〇〇	三四六二	八、
芝浦製作	二〇〇〇	一二五〇	八、
日本製鋼	三〇〇〇	三〇〇〇	—
總　計	八五九七一	大[illegible]九六八	

政友會に於ける三井財閥の代表者は、副總裁野田卯太郎、顧問山本條太郎、政務調查委員長山本悌次郎である。山本條太郎はもと三井物產常務取役であり、山本悌次郎は、現に臺灣製糖の社長として、三井財閥の產業資本の監督者である。

B　藤田財閥と長州系

封建的官僚的殘存勢力のうちでも、薩派は多くの資本閥との提携があるが、長州系は僅かに藤田財閥を有するにすぎなかつた。しかるに藤田は、陸軍の長州系たる田中義一を政友會の總裁に据えた。田中は藤田財閥の政治的利害の公然の代表者とはなつた。

藤田財閥

	總資本金	拂込資金
藤田組	六〇〇萬圓	六〇〇萬圓
藤田鑛業	三〇〇〇	一五〇〇
藤田銀行	一〇〇〇	五一二
濵花銀行	五	五
萩　銀行	一〇	一〇
尼崎共銀	三〇〇	一五〇
富士生命	五〇	一二
宇治川土地	二五〇〇	一七五〇
小坂鐵道	一〇〇	五〇
南興殖產	五三〇	二六五
總　計	八〇九五	四八五四

備考、藤田財閥は久原房之助をも配下にした。

C　古河財閥と岡邦、岡崎邦輔は京阪電鐵を根據とする小

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

財閥の首腦であるが、同時に古河財閥の顧問である。彼と古河の關係は、岡崎が遞信省官房長のとき、古河重工業資本を保護したことに始り、退官後古河の理事となり、古河の政治代表たるに及び顧問に昇進した。

古河財閥

一、金融及雜產業

古河合名株式	二〇〇〇	二〇〇〇
古河合名	五〇	五〇
古河銀行	五〇〇	五〇〇
日光電氣	五〇	五〇
橫濱ゴム	二五〇	二五〇
日新ゴム	一二〇	一二〇
原町紡績	二四〇	一二〇
帝國生命	一〇〇	七五
小計	三三一〇	三一六五

二、重工業

古河鑛業	二二五〇	二二五〇
古河電氣	二〇〇〇	一二五〇
富士電機	一〇〇〇	四〇〇
大阪電氣分銅	五〇〇	一二五
日本電線	二〇〇	一二五
旭電化	二〇〇	一二五
電線製造	五〇〇	三〇〇
尼崎伸銅	一〇〇	一八〇
大阪製鎖	三〇〇	一五〇
小計	七二五〇	四九〇五
總計	一〇五六〇	八〇七〇

D 甲州系財閥と若尾

甲州財閥

一、若尾系

	總資本金	拂込資本	配當率
東京電燈	三五三七五萬圓	三五三七五萬圓	一一
信越電力	三二〇〇	三二〇〇	一〇
若尾保全社	五〇〇	五〇〇	—
若尾銀行	五〇〇	五〇〇	五
橫濱若尾銀行	五〇	—	—
小池銀行	三〇〇	三〇〇	六
東洋モス	一八〇〇	一六二五	一〇
日本製麻	一五〇〇	一一五〇	一二
東京瓦斯	四五〇〇	四五〇〇	九
ボルネオ殖產	一〇〇〇	—	—
三ツ引商事	五〇〇	三〇〇	一〇
東京紙工	六五	三〇	—
東北電力	二五〇〇	六二五	—
三ツ引物產	一〇〇	二五	—
三ツ引同族	二〇〇	五〇	—

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京商業銀行	一〇〇	五三	八
靜岡電力	一五〇〇	七五	一二
小計	五三六九〇	四八三〇八	
二、小野系			
大木合名	二〇〇	二〇〇	ー
富士身延	八〇〇	四六〇	九
駿豆鐵道	一〇〇	一〇〇	一八
北海道電燈	二一八八	一〇九四	一三
日本煉炭	一一〇〇	八二五	一〇
東洋遊園	一〇〇〇	ー	ー
保安倉庫	五〇	ー	ー
小計	五四三八		
三、根津派			
根津合名	五〇〇	五〇〇	ー
東武鐵道	一四五〇	一四四二	一三
日清製粉	一二三三	六八三	二〇
日本ビール	一〇〇〇	八六三	一三
東京紡績	三〇〇	六〇	ー
小計	五四八三	三四四八	ー
四、雨宮系			
庄川水力	一〇〇〇	ー	ー
京成電氣	一〇〇〇	七五〇	一二
小計	二〇〇〇		
五、大川、田中系			
富士製紙	七七七〇	四九五三	一五
樺太工業	三三六一	二九七〇	一二
日本加工紙	一五〇	六七	不明
鴨綠江製紙	五〇〇	二七五	ー
上毛製紙	五〇〇	一二五	五
日本鋼管	二一〇〇	大島製鋼	六〇〇
東海鋼業	三〇〇	大日人造	二二四〇
武州銀行	七八九		
六、渡邊系（準甲州系）			
渡邊保全	七〇〇	七〇〇	不明
渡邊銀行	五〇〇	二〇〇	四
東京灣汽船	二〇〇	一四〇	一〇
東京乘合	六〇〇	三七五	一二

甲州系財閥の資本家は、商業資本家の近江財閥のやうに、郷土中心の結合であつて、他の資本閥の如く血緣結合ではない。されば結合力も弱く、殊に形成する各派の産業資本種別の分化するにつれて、今や崩壞狀態に陷り、同じ若尾派ですら、璋八（動力資本家）謹之助（貨幣、製絲資本家）の二分派をなし、不斷に反目をなしてゐる。

1 若尾と電力國有

電力産業は今や甚しき無政府狀態にある。東京に於ては三萬キロの剩餘電力を東京電燈が持て餘しつゝあるに日本電力

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

(商船系)は富山黒部から二條の送電線を。東邦系(松永)は名古屋から東海道を、東京に向つて侵入せんとの狀態にある。かくては各資本閥の、產業資本に行き詰らざるを得なくなる。殊に東電は產業資本に一層の困難を感じつゝある(東電株式の暴落を見よ)これを救ふみちは、政府に高く賣りつける卽ち電力國有の外はないと、政友系の商船資本閥と提携するために、若尾璋八は庚申俱樂部を引つさげて政友會に投じ、三十萬圓で總務の椅子をかち得た。

2 然し乍ら東邦電力は、東電とは經濟的事情を異にする。之れ故に電力國有反對で、東邦は從來政友會總務山口恒太郎を代表とし、政友會の產業的地盤であつたにかゝはらず、東電の國有政策に反對し、漸次政友會から離反してある。

東邦系財閥

東邦 電力	白山 水力	矢作 水力
四國 水力	濃飛 電氣	大白川電氣
尾山 電力	岐阜 電力	東京 電力
立山 水力	南信 電氣	中越 水電
中央 電氣	豐國 洋灰	東海 曹達
東海 電燈	愛知 電氣	九洲 鐵道
西部 ガス	北九州ガス	大同 製鋼

E、商船系財閥の復歸

中橋德五郎の同交會の政友會合同は、商船系財閥の政友會復歸を意味する。

商船系財閥

一、商船直系

	公稱資本金	拂込資金	配當率
大阪商船	一〇〇〇〇萬圓	六二五〇	七
宇治電氣	八五〇〇	五二二六	一〇
日本電力	六〇〇〇	六〇〇〇	八
越中電力	五〇〇	—	—
大阪鐵工	一二〇〇	一〇五〇	八
大阪海上	一〇〇〇	二七九	一三
攝津海上	二〇〇	—	—
日清汽船	一六二〇	一〇〇三	七

二、商船系雜業

	公稱資本		
北日本汽船	三〇〇	日本海事	三〇〇
攝陽商船	一〇〇	大阪陶業	三〇〇
大阪製鎖	三〇〇	大阪機械	五〇〇

三、傍系喜多又藏

日本棉花	五〇〇〇	二〇〇〇	一六
大阪メリヤス	五〇〇	二一五	一八
大分セメント	一〇〇〇	六一八	

三、政友本黨系の資本閥

A 憲本提携・ブルジョア政局の中心的興味は、憲政會と

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政友本黨の提携である、しかし本黨は　その借財のうち五十萬圓の肩替りを憲政會との間に、取引をすましたのだから、提携は既に成立したも同じことで、のこるところは、民衆を愚にするための、提携の表面的道行きの形式である。

三菱の本黨買收費五十萬圓は安いものだ。本黨は政友會の資本閥から投げ出されて、これといふ資本閥の支持が無い。櫻内幸雄によつて甲州系財閥の一角につながり、顧問高橋光威によつて、水產資本家堤淸六を捉えたくらひのことでは、政黨存立の意義がなく又存立をゆるさざる窮境にある。

B　薩洲の資本的背景、されば床次竹二郎は、薩州の資本的背景の前に起つ。

薩州の資本的背景とは、十五銀行を主力とする松方正義と資本閥との交錯した情景の、謂れであるが、松方の長男巖は十五銀行、三男幸次郎は神戸川崎財閥の川崎造船、四男正雄は福德生命、大阪ガス、五男九郎は東京ガス電氣によつて、鈴木、商船系に跨り六男乙彥は甲洲系財閥の東京ガス、七男正熊は臺灣の製糖業、八男義輔は國際信託、とそれ〲各資本閥に溶解したる外、三井財閥には樺山愛輔、三菱系には赤星鐵馬、北海道の金融資本家には安樂兼道、淺野財閥には町田豐千代等がある。

四、新正、實業同志會

新正俱樂部の前身たる舊革新クラブの犬養は、黨員を政友會に身賣りするにあたつて、政黨は金が無くては駄目だと、小ブルヂョア代表の悲哀を告白したが、郵船の航路補助廢止案を議會に現はして、郵船會社（三菱）の英蘭銀行預金三百萬圓が內地へ散布されたことがあつたが、ともかく犬養は三菱財閥には頭のあがらない事情にある。然し乍ら彼は川崎造船の松方幸次郎、尾道の地方的產業の資本家橋本太吉、日淸紡績の宮島淸次郎等、小資本家の支持とその利害の代表をなしたところに、革新クラブの政治的結合の意義がある。武藤山治の實業同志會も亦、これと同じく小資本家、小企業家、中產階級の利害に基く政治的結合であつて、之れは資本閥に對する、從つて之の政黨に對する、かれらの經濟的政治的の反抗運動に外ならない。

政黨中立の資本閥

一、政黨中立の意義

資本閥に於ては、政治的中立は絕對に無い。しかし、政黨中立の資本閥は少なくない。資本閥の政黨中立とは、どの政黨にも總花を撒くことで、之れは資本閥の利害を、容易く政治的利害に結びつける手段である。

そして其れは、一官僚的殘存勢力——そして其れは國家資本閥を形成して來た——のための、政黨勢力の微弱、二、資本閥の發達がなほ不熟の狀態——重要產業の完全なる企業合

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同はまだ成らぬ――にあることなどにもよる。

しかし、さらに重要な問題は、强大なる國家資本主義に基く原因である。

A、國家資本主義の資本傳統

A 金融資本、日本銀行、興業銀行、正金銀行、勸業銀行、農工銀行、

B 産業資本、鐵道、郵便電信電話、製鐵所、印刷所、製絨所、陸海軍工廠、簡易保險、森林伐採、米穀調節、南洋燐鑛、專賣事業(鹽、煙草、樟腦、人參)

C 殖民地金融、産業資本

1 金融資本、朝鮮銀行、臺灣銀行、朝鮮殖産銀行、

2 金融産業資本、南滿洲鐵道、東洋拓殖。

右のうちBの産業資本は、民間の同一産業の總資本額の約六割餘に達する。國家産業資本の强大なる驚くの外は無い。

B、政府の産業資本家補助費下附

國家資本主義餘惠として、每年三、四千萬圓の補助費を放散し、特殊技術の提供を爲す。この餘惠にあやからぬ資本閥は殆んどない。

航路補助費、工業復興、理化學、製鐵奬勵、海外漁業助成、農事奬勵、震災復舊、移殖民奬勵、各種産業試驗補助、水道土木補助、輕便鐵道軌道補助、蠶絲業補助其他

C、政府事業による物資購買

一般會計の豫算だけでも、十五億圓をくだらず、このうち行政費を除いた大部分は、一、土木築港、營繕物、二、艦艇その他の建造、三、物資購買等に消費され、帝國政府は一面に於て一大消費者たる關係にある。殊に國家産業資本の活動による原料、機械の購買納入には、資本閥の商業資本と密接微妙なる關聯を持つ。その間政商の跳跡を促すは當然にて三井物産、三菱商事、大倉、安田、鈴木――いづれか政商たらざるものあらんやである。

十四年度特別會計に於ける國有産業所

所要原料購入費

(殖民地並に郵便、專賣局勘定を除く)

	萬圓		萬圓
造幣局	一〇二三	印刷局	二八六
製鐵所	三〇八	海軍工廠及燃料	六三九四
陸軍造兵廠	一〇〇四	製鐵所	二九九一
鐵道用品	二一一八四		
計	三三一九〇		

二、政黨中立の資本閥

A、住友財閥

住友は元老西園寺直属の財閥である。しかし西園寺がかつては政友會の人であつた關係から、政友會的色彩が強い。

住友財閥

總資本金	拂込資金	配當率

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

住友合資	一五〇〇〇萬圓	一五〇〇〇萬圓	｜
住友銀行	七〇〇〇	五〇〇〇	一〇
住友信託	二五〇〇	五三〇	なし
住友製銅	一二〇〇	九〇〇	五
住友電線	一〇〇〇	八七五	一〇
住友肥料	三〇〇	一八〇	不
住友倉庫	一五〇〇	一五〇〇	なし
藤倉電線	五〇〇	四四〇	不
日出生命	一五〇	五六	一〇
住友ビル	六五〇	三九〇	
總計	二九八〇〇	二四八七一	

B、川崎と淺野

一、川崎(東京)財閥

	總資本金	拂込資金	配當率
定德(保善社)	三〇〇萬圓	三〇〇萬圓	不明
川崎銀行	一〇〇〇	一〇〇〇	五
川崎貯蓄	三〇〇	三〇〇	なし
麹町銀行	一〇〇〇	三三五	一〇
安房合同	三〇〇	一五〇	不明
常盤銀行	八五二	五二四	一〇
常盤貯蓄	一〇〇	五〇	なし
足利銀行	七三二	五〇七	九
所澤銀行	三〇〇	一五七	九
小計	四八八四	三三二四	

二、保險其他

日本火災	一〇〇〇	四〇〇	一八
日華生命	一〇〇	二五	一〇
萬歲生命	一五〇	三七	一二
常盤火災	三〇〇	一〇五	一〇
日華徵兵	一〇〇	五〇	｜
自動車	一〇〇	二五	
日本商事	一二	一二	
小計	一七六二	六五四	
總計	六六四六	三九七八	

淺野財閥

	總資本金	拂込資金	
淺野同族	五〇〇萬圓	五〇〇萬圓	｜
東洋汽船	一六二五	一一三八	減資
淺野造船	五〇〇〇	二五〇〇	なし
小倉製鋼	一五〇〇	六〇〇	なし
淺野物產	一〇〇	一〇〇	不明
セメント	五六三一	三二四三	一五
大日鋼業	五〇〇	五〇〇	損失
總計	一四八五六	六〇八一	

C 安田系財閥

安田財閥には、政黨中立の補ひとして、貴族院に、子爵前田利定、伯爵川村鐵太郎、その他の代表を派遣してゐる。

安田系財閥

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、保全社と金融機關

	公稱資本金	拂込資本金	配當率
保善社	三〇〇〇萬圓	—	—
安田銀行	一五〇〇〇	九二七五萬圓	一二
安田貯蓄	五〇三	二〇七	六
養夜銀行	一〇〇〇	六二五	五
正隆銀行	二〇〇〇	九五〇	六
帝國商業	五〇〇	二七五	なし
十七銀行	一〇二〇	四六八	九
四國銀行	一〇八二	六一五	一〇
關西銀行	三〇〇	一五〇	八
大垣共立	三〇〇	六二	—
伊藤銀行	一〇〇	五〇	—
第九十八	一三〇	五〇	一〇
第三十六	三〇〇	一五〇	一〇
富山銀行	二六四	二三七	—
共濟信託	三〇〇〇	七五〇	—
小計	二八四九七	一三八六四	

二、保險會社

共濟生命	三〇萬圓	七萬圓	一〇
東京火災	一〇〇〇	二五〇	一五
帝國海上	一〇〇〇	二五〇	一〇
東洋火災	五〇〇	一二五	なし
小計	二五三〇	六三二	

三、製造工業

日本紙業	一五〇〇萬圓	七五〇萬圓	缺損
帝國製麻	三一七五	一八八五	一〇
奉天製麻	一五〇	七五	缺損
臺灣製麻	二〇〇	一〇〇	なし
横濱棧橋	一〇〇〇	二五〇	なし
東京建物	一〇〇〇	六二五	一〇
滿洲興業	五〇〇	二五〇	
興亞起業	一〇〇〇	五〇〇	なし
安田商事	二〇〇〇	七八四	なし
小計	一〇五二五	五二一九	

四、電氣鐵道

			割分
京濱電氣	一五〇〇	一〇〇五	一二
中國鐵道	四三〇	四三〇	一二・四
小湊鐵道	一五〇	一四七	なし
水戸鐵道	五〇	五〇	九
博多灣	六三三	三四八	一〇
秋田瓦斯	三〇	一四	不明
秋田電氣	一〇〇	一〇〇	一二
熊本電氣	二六〇〇	一四〇〇	不
小計	五四九三	三四九四	
總計	四七〇四五	二三二〇九	

D 大倉財閥

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、大倉財閥

	公稱資本金	拂込資本金	配當率
大倉組	五〇〇〇	五〇〇〇	不明
大倉商事	一〇〇〇	八〇〇	八
大倉鑛業	一〇〇〇	二五〇	なし
大倉土木	二〇〇	二〇〇	一〇
入山採炭	六〇〇	四二〇	八
秋田木材	一一〇〇	七四〇	六
新高製糖	二八〇〇	一七九五	一〇
大倉製糸場	一〇〇	五〇	｜
日本無電機	一〇〇	五〇	
小計	一一九〇〇	九四〇五	

二、支那及殖民地

1、投資事業

本溪湖鐵山　鴨綠江製材　豐材公司　裕津製革　製元紡紗
魯大公司　華興公司　大源鑛業　金福鐵道　蒙古水田

2、借款

隴海鐵道　蒙古喀喇沁　財政部借款　上海閘北水電　北津
保商洋行　其他

3、總金總額約二五〇〇萬圓

E、鈴木財閥

鈴木商店は白鼠の金子のほか、長崎英藏、藤田謙一、金光庸夫、佐々木平次郎等が、政商の役割を演ずる。ブルヂョア化した後藤新平を、その政治的代表者となすも、金光庸夫は政友本黨、佐々木平次郎は新正クラブに屬し、最近は政本黨に接近しつゝある。恐らくは政本黨の憲政會內閣割り込みを豫想してのことであらふ。

鈴木財閥

	總資本金		總資本金
一、重工業			
神戸製鋼	二〇〇〇	大日本鹽業	四〇〇
沖見初炭坑	二〇〇	クロード窒素	一五〇〇
太陽曹達	一〇〇	帝國炭業	二〇〇〇
旭石油	九六〇	發動機	二〇〇
小計	七三六〇		
二、輕工業			
東京毛織	一六〇〇	帝國人絹	一〇〇
南鮮製紙	一〇〇		
小計	一八〇〇		
三、食糧			
日本製粉	一一五五	帝國ビール	四〇〇
東亞製粉	三〇〇	日本酒精	五〇〇
合同油脂	五〇〇	豐年石油	一〇〇
小計	三八五五		
四、製造工業			
東洋製糖	三六三五	東洋マッチ	四〇〇
大陸木材	五〇〇	東工業	五〇

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

米屋煙草	一〇〇	臺灣樟腦	一〇〇
日本樟腦	九〇〇	支那樟腦	二〇〇
再生樟腦	一〇〇		
小計	五五八五		

五、保　險

大正生命	五〇	新日本火災	五〇〇
東洋海上	二〇〇	教育生命	三〇〇
小計	一〇五〇		

六、商　業

		拂込資金	配當率
鈴木商店	八〇〇	｜	
日本商業	五〇〇	五〇〇	なし
南満物產	一〇〇	｜	
日沙商會	三〇〇	｜	
小計	八九〇〇		

七、雜　產　業

帝國汽船	一〇〇	｜	
日本活動寫眞	六〇〇	三三七	一〇
室蘭殖產	四五	｜	
浪花倉庫	五〇〇	｜	
小計	一二四五		
總計	二九七九五		

注意一、數日間に私の手一とつで、まとめた。從つて粗材をそのまゝ整理し、調査の上にも遺憾な點が少くない。

二、資本閥の會社別は、ダイヤモンド社の全國百株以上の株主名簿を基礎に、會社要覽十五年版により訂正したもので、社債、借入金、積立金は省略した。資本閥の内容を、大體に示す程度に止めたからである。

三、この調查の不備は追つて補ひ、次ぎには封建的殘存勢力の經濟的基礎と貴族院の解剖によつて、さらにこの調查を完成したいと思ふ。

雜誌「大衆」御發行の趣き御喜び申し上げます。貴翰は漸く昨日一昨日高梨君等の公判で松山に行つてまして、落手拜見したやうな次ので、三月號には到底間に合せ得られませんので今回は失禮致します。

別に爭議も今や名狀し難い深刻性を帶んで參りまして、形勢全く逆堵すべからざるものがあります。

住友は金にあかして買收切崩をなし、警察は權力を亂用して買收切崩し運動をやつて居る有樣であります。頑苦しい不安の空氣は全山に漲り溢れて居ます。

人々の面上には觸れゝば血がほとばしり出るほどの殺氣が横溢てしゐます。敗けるにも勝つも茲數日の運命でありませう。

といふ樣な譯で、私としてもとても原稿を書く暇もなければさう云ふ氣にもなれません。爭議がすんで無事に歸ることが出來ましたならば、その時にはまた、御目にかゝつて御話しいたします。先は右まで

二月七日　爭議團本部

加藤勘十生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

獨立社會民主黨の危機

リープクネヒト

獨立社會民主黨は舊の社會民主黨が分解してゆく間に成立したものである。その分解たるや、戰爭のずつと以前に始まり、戰爭によつて促進され、そして、いまもなほその了を見ないものである。獨立社會民主黨は、いろ〳〵の關係において、戰爭といふ機會の偶然生んだものであつて、最初からして種々雜多な分子を含んでゐた。まづ第一に、それは機會の産物であり、國會における「共働團」からできた。一年半を經てやつと最後に、分派(フラクシヨン)に屬する者の多數をば一定の對抗的な土臺の上に立たせることができたやうなわけである。政府社會主義者からの分裂は一九一六年の五月十六日に行はれた。が、それに先立つて既に、例の、原理的な分裂があつた。といふのは、リープクネヒト及びリーレを分派から排斥したことである。黨の獨立した組織は一九一七年に始めて行はれた。獨立社會民主黨の議會上の鬪爭の仕方といふものは決して目的のはつきりした階級政策ではなくて、絶えずあつちへ往つたり、こつちへ往つたりしてゐた。それは理論的にはつきりした原則もなければ、行動綱領ももつてゐなかつた。兩方共に、もち得なかつたのである。なぜならば、そういふものをもたうなどゝ試みれば忽ちに黨の——ベルンシュタインのやうな生粹の修正派が右翼を成してゐる黨内部における分裂を來したであらうから、である。けれども、この黨は、當時では比較的にいつてまづ一番我慢のできるものであつた。殊に、公然烈しく働くことは我々の派にとつて不可能になつてゐたから、獨立社會民主黨の政策は歩き古された議會主義の路のうちに全然とゞまつてゐた。かゝる形勢にあつて唯一可能な政策である、反議會的な、大衆行動に向けられた政策は拒否された。だからして、「バラロンガ事件」や「海員騷動」などにあたつて、みぢめにも默つてぢつとしてゐるやうなことになつた。黨の議會外の政策もこれに叶つたものだつた。その特徴は〇〇に對する機械的に制限された見解であつて、それは〇〇への準備に參加するにあたつても曝露した。我々はこ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

れらの總てに對して別に驚かなかつた。我々が、それにもかゝはらず、ゴータにおいて獨立社會民主黨に加つたのは、我々が完全なる行動の自由を留保しておいたからであり、我々が獨立社會民主黨に屬したのは、それは前進させるため、それをば我々の鞭の届くところに置いておくため、そのうちから最もよい分子を引き拔かうがためであつた。それはむづかしい性質の絕えず逆戻りするやうな仕事だつた。我々はなるほど指導者を手に入れなかつたが、大衆の大きな部分を手に入れた。

十一月革命以來、獨立社會民主黨の原理を缺くことは益々甚しくなつて、遂に我々は黨に對する我々の將來の關係をどうすべきかを決定しなければならないやうになつた。

既に十一月一日において多數派社會主義者が明白に〇〇的な政策を拒否したにもかゝはらず、内閣に加はるといふことが起つた。獨立社會民主黨員はシャイデマン内閣において二つの機能をもつた。第一に彼等はエーベルト、シイデマンにとつての隱蔽物であり、それとともに反革命、それの外翼、協同者にとつても亦隱蔽物となつた。彼等は政府の憎むべき行爲をば、默つてゐることによつて、助けたのである。或は共犯者として判を押したのである。多數派の政策は初端からして明かな方向を辿つてゐた。つまり、私有財産の資本主義的階級支配を再び確認するといふことである。バルトはストライキ運動反對の巡囘演說者として勞働者を「鎭撫する」ために派遣されたが、それは内閣の全閣員の承諾の上で起つたことである。この方向においてさらにやつたことは、古い官僚主義を以前として働かせておいたことと、將校の命令權を再興したことゝである。これらのことに對してハーゼ並に同志はなんの反對もしなかつた。次には十二月六日の事件であるが、エーベルト、シャイデマンはその組織者ではなかつたにしろ、これに與かつてゐたのである。委員會議の反動的な決議は獨立社會民主黨の閣員の協同のもとに行はれた。獨立社會民主黨の指導者の大多數は國民議會を宣傳して、委員制度を攻擊した。かうした、〇〇に對する裏切りは委員會議に至つて完全なものになつた。黨同志の大衆をして決せしめるために黨大會を開くことを要求したが、拒否されたかうした政策の全部は、勞働者並びに兵士の大衆の間の混亂を來たした。これによつて、また、スパルタクス團反對の狂ぢみた騷ぎを支持することによつて、獨立社會民主黨の指導者達は反革命的な力の急速な發展に對して前提をこしらへ出した。そ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して、それが十二月六日並びに廿四日の下地を成したのである。このための殺戮も彼等の責任である。彼等は何事も知らなかつたが、彼等はエーベルト、シャイデマンが何をなしうるかを知つてゐるべきであつた。政府に居つた以上、彼等は責任をもつてゐる。我々は、妥協した指導者に對する獨立社會民主黨員の批判を喚び起さうと思つた。革命的な幹部のこの要求も、黨大會を要求する我々の十二月廿二日の最後通諜もともに拒否された。

それによつて、我々は明白な決定をせねばならないやうな狀態に置かれることになつた。

いまや、ハーゼが政府から脫退したことなどによつて、形勢が新しくなつたかどうかといふ問題がある。「自由」誌は今日その事實を「追出された」といふ面白い標題で書いてゐる。だから、彼等はできれば內閣に留つてゐたかつたのであらう。この態度は、彼等はなほも全く以前の儘であることを證明してゐる。彼等が原理をもたないこと、また行動において無能力なことは、彼等の構成と彼等の過去とからして決定されてゐるのだ。そのことの判斷は個々の政治上の行爲から獨立である。獨立社會民主黨の分解過程はさらに大衆のうちにも進んでゐる。黨員はしばしば選擧に際して多數派社會主義者と一緒になり、そして、ベルンシュタインの例に倣つて組織的に彼等と合同してゐる。根本においては、獨立社會民主黨は死んでしまつて、腐りつゝある。ハーゼの內閣脫退やなどは、その死骸にもう一度息を吹き込まうとした、やりそこないの試みにすぎない。それ以上に長く獨立社會民主黨のうちに留まるならば反革命と協調するやうなものである。それから分離することは〇〇に對する忠誠によつて命じられてゐる。ハーゼ、バルト、ディットマンと協調することはもはやいかにしても不可能である。ただちに行動せねばならない。今日は、公々然と分界線を引き、そして、新しい獨立の黨として組織しなければならない、――斷乎として躊躇することなく、精神を意志において緊密に統一し、社會主義的世界〇〇の利益に向つて明白なる綱領、目的、手段とを以つて一致して。大衆は既に、我々がなんであるかを、我々が何を欲するかを知つてゐる。我々の仕事をさらに廣い根底において續けさへすればいゝのだ。（小原政一）

（一九一八年一二月三十日から翌年の一月十一日に亘つて伯林で開かれた獨逸共產黨の創立大會に於て）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

経濟講話

豫算の話

大久保金次郎

豫算のない生活はない

虫でもケラでも生活をしてゐる以上は生活の經濟がある。外から空氣と食物とを攝り入れて、それを消化してまた外へ出すところに彼等の生活が營まれる。吾々人間の生活にも經濟がある。株の配當や、俸給や賃銀やを貰つて來て、それを以て色々の品物を買ふのが吾々の經濟であり、この經濟があつて、そこに吾々の生活がある。吾々人間はこの生活の經濟に對して吾々の最善の注意と努力とを拂ふものであつて、從つてこの經濟はそれぞれ可なり計畫的に行はれてゐるものである。だから人間の活動の內で經濟ほど合理的計畫的な方面はないと云へよう。吾々の生活の經濟に關する計畫を吾々は豫算と呼ぶ即ち吾々の生活は豫算的な生活であり、豫算のない生活、無計畫な生活などゝ云ふものは、狂人の生活の外には先づないと云つてよい。

このやうに凡ての生活は豫算生活であり、多くの努力が吾々の生活を計畫的豫算的にするために拂はれてはゐるが、實際各人の有する生計の豫算そのものをとつて大小、整不整、種々樣々であつて決して一樣な客觀的計畫性をもつものではない。『手から口へ』の生活をしてゐる自由勞働者Aは恐くは最善の努力を以て生活を改善しようと心得てはゐるであらうが、彼に對していはゆる豫算を書いた帳面を要求することは無理であらう。之に反してシガーの紫煙を見て暮してゐる富豪Bは、あまり多く生活のことなどに關心しないであらうが彼の書記は彼のために最新の復式簿記に則つた豫算を編成して、それに從つて彼のために收支をしてゐるであらう。さうして見ると、豫算の形式の完備のみが吾々の努力の結果を語るものではないこともたしかだが、經濟が大きくなり、又多少長期の計畫を立て得るやうになるに從つて豫算の形成が完

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全に出來るやうになるのも確からしい。これは豫算があると云ふことが經濟をする上において便利であるがため、即ち吾々をしていはゆる經濟的に行動させるがためであらう。

立憲國の豫算制度は政治的の意義をもつ

國家もまた生活を營んでゐる。軍隊を有し、警察をもち、學校を作つて、吾々を保護し、强制しまた教育をもしてゐる。この國家の生活も亦當然に經濟である。而もそれは現代においてはお金で計算の出來る貨幣の經濟である。一切の『租稅』がお金でとり立てられ、一切の勤務は『俸給』又は『給與』と云ふお金の支拂によつて買はれる。(徴兵制度による强制はこの例外である)。即ちこの經濟も吾々の經濟と同樣、收入と支出との相對立してゐる金錢の出納を內容とする經濟である。吾々はこの經濟を特に財政と名づける。それは經濟であると云ふことにおいて吾々の經濟と大差ある譯ではないが、それは、政治團體の經濟であると云ふ點で、即ち一定の强制的權力的關係の上に立つてゐると云ふ點で、吾々の經濟と違つたところがある。

財政即ち國家の經濟においては特に豫算生活が必要である。何となれば國家の經濟は何億圓何十億圓と云ふ大經濟であり、何千萬の國民の經濟と有機的に直接に關聯してゐる經濟であるから自然極めて複雜な勘定が生じて來るからである

しかし、近世國家において豫算が特に注意せられ、豫算制度が國家の主要な制度の一に數へられる所以は、右のやうな技術上の問題ではない。それはもつと別な政治的理由、即ち國民と國家との關係に由來するものであつて、一言以て之を掩へば、近代の政治的理想たるデイモクラスイーは、豫算制度の完成を通じて、その理想を實現しようとしてゐるのである。之を譬へて云ふと、注意深き田舍の父は、東京におけるその子の行動を月々に送る學資金を通じて監督するのと同じやうに、近代の國民は豫算の公表、豫算の議定、豫算の協贊決算の公表決算の承認等の機會を捉へて、議會を通じて政府を監督し、以て、吾々國民の要求を滿足させようとするのである。そこで一片の金錢出納見積書に過ぎない『豫算』が、國民の政治的意見書と變ずる譯であつて、吾々國民はこの意味の『豫算』に對して最も直接の利害關係をもつのである。その意味に於てのみ『豫算は國民最高の數字である』のだ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

豫算制度の發達は民權發達の指標である

豫算は昔からあつたに相違ない。シーザーの財政にも始皇の經濟にも計畫がなかつた筈がない。しかし近代國家の豫算制度、卽ち議會において豫算に協贊すると云ふ制度は比較的新しい制度であつていづれの國においても憲法政治の發達と表裏するものである。近世憲法の最初の形であると云はれるマグナ、チヤアタには、王は諸侯の同意がなければ支出をしてはならぬと云ふことゝ交換に、諸侯は租稅を納めると云ふことが書いてある。この諸侯會議が發達して後の議會となつた譯だが、それは半面から云へば、租稅を出すものが頑張つたから議會制度が發達したと云ふことなのである。例へばフランス革命の如き、或る意味においては政府の財政公開の要求のために勃發する機會が作られたのであり。當時のブルジヨアは之を條件として租稅を納めることを主張し、そのため近世の所謂豫算制度が發達したのである。その後ブルジヨア階級が政權を一手に收めるやうになると共に、彼等は財政を通じて自己の階級の社會的存在を確立するやうになつた。いはゆる保護政策、いわゆる海外發展政策はその表現であつた。そして政府の財政が益々膨脹するに伴つて、ブルジヨアが官僚化した。そしてあらゆる方法を以て財政を不明ならしめた。之が十九世紀後半に起つた豫算制度上の反動時代であつて、そのため諸國の豫算は、再び解り惡いものとなつた。而し時代はデイモクラスイーだ、國民は廣く選擧權をもつやうになつてゐる。それで屈伸性に富んだ憲法と政治的慣習とをもつてゐる諸國においては、豫算制度は民衆本位に立たざるを得なかつた。かくて豫算制度發達の程度が、自然デイモクラスイーの發達の程度を示すことゝなつた。そして民權の發達した國においては、豫算制度そのものも民衆本位となり、豫算は極めて明瞭な形式において國民に提示せられ、公明な態度において議定されることゝなつた。卽ちデイモクラスイーの徹底するに從つて國の財政に關する權力者の欺瞞は困難となつたのである。

國民は豫算に無關心であり得ない

吾々は吾々の生活について無關心であり得ない。然らば、吾々の生活が政治的に國家に關聯する限りにおいて、吾々は國家の經濟に、無關心であり得ない。年々の豫算！それは國家の經濟と吾々の經濟とを關聯をさせるところの唯一無二の計算表である。吾々はこの數字を通じてのみ、吾々の經濟と吾々の國

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

する國家の經濟とを政治的に結合させることが出來る。吾々にして吾々の生活に無關心であり得るならば、吾々はこの政治的生活に無關心であつてもいゝであらう。しかしそれは出來ることではない。何となれば生活が吾々だ、吾々は政治的生活にも吾々を見るからだ。だから、デイモクラスイーの要求は生活者當然の要求であり、豫算に對する發言は、吾々當然の權利である。

試みに大正十五年の豫算をとつて見よ。歳入合計十五億九千八百萬圓、內、租稅收入八億五百萬圓に專賣收入一億五千二百萬圓を合すと租稅收入は九億五千七百萬圓となる。問題は歳出の方面にもあるのだがこゝにはこの歳入とに租稅のみを問題として見よう。總額九億五千七百萬圓の租稅の內所謂間接稅に屬するものは、酒稅、淸凉飲料稅、醬油稅、砂糖消費稅、織物消費稅、關稅、專賣益金であつて之を合して、五億七千八百萬圓に上り、全體の六一%に達してゐる。この種の租稅は國民の貧富の階級如何に無關係に課稅せらるゝ租稅であつて自然その負擔が下層階級にほど重い稅である。又、試みに本年度の稅制改革案を見よ。直接稅においては減稅千六百萬圓、間接稅においては增稅六百萬圓、外に關稅增稅七百五十萬圓乃至一千萬圓である。卽ち直接稅が減つて間接稅が同額ほど增すのである。現內閣及濱口藏相の一枚看板たる『租稅の社會改策』によつて何か下層階級に與へられつゝあるかはたゞ之だけの數字でも明白に語るのである。要するに吾々の知ると知らざるとに關らず、國家の財政は吾々の生活を脅し、國家の經濟は吾々の經濟から可なりに大きい金高を國庫へ吸收しつゝある。吾々は國民として豫算に無關心たるを得ない吾々が豫算に對して發言することは、吾々の權利であり、また同時に吾々の義務である。

吾國の豫算は解らない

不幸にして吾國の豫算は可なりに難解である。たゞにその形式が舊式であるばかりでなく、法規が無暗に雜多にして不統一であるばかりでなく、また說明が不親切であるばかりでなく、あらゆる點において時代後れであり、全く不親切極まるものである。ことに甚しきは三十有餘の特別會計が並立しつゝ又相互に交錯した勘定科目をもつてゐるがため、何人にも吾國の財政狀態を一目で了解させることは出來ない。云はゞ吾國の財政にはバランスシートがないのだ。だから豫算全體がどうなつてゐるのか大藏大臣にすら明白に答へられぬ有樣である。だから豫算の議

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

定には所謂『財政通』と云ふのか幅をきかし、平議員は本會議において「一票」を投ずるだけの役目しかしないことになる。そこで議會があつても、豫算に對するデイモクラスイーの實質は存立しないのであつて、從つて國民の聲は中々に財政の上に通らぬのである、吾國の租税制度がいつまでも間接税中心主義で、租税が無産階級のみに重く、且つ税制改革上の無産階級の負擔のみが加へられて行く一つの原因こゝに存するであらう。

「無産階級は政治に冷淡だ豫算などに注意しない」と云ふことは、吾々の常に聞くところであり、また之は事實に相違ないところである。しかしもしその意味が無産者は生活に冷淡であり政治的能力のないものだと云ふのであれば、論者の過誤之より大なるはあるまい。吾々は、曾つて如何なる政治的發言の機會が無産者に與へられてゐたかを檢せねばならぬ。機會の與へられてゐない人間に對して發言の能力を疑ふのは、疑ふ者が無理であるまいか。吾々は、今までの國費の負擔について無産者の無知と經濟的弱者たる地位とが如何に巧に利用せられてゐたかを考慮しなければならない。學ぶに暇ない人間にとつて、必需品の代價の内に織り込まれてゐる租税に氣づけとは可なりに無理な註文であるまいか。更に吾々は少數の職業政治家と技術にたけた官僚とが如何に多くの努力を費して國費分布の狀況と國費負擔の輕重とを不明ならしめたかを調べて見なければならない。

豫算制度改革の急務

普選は無産階級解放の政治的第一階梯である。これによつて國費の負擔者に國費を議する機會が始めて與えられたのだ。即ちデイモクラスイーが實現すべき條路が與へられたのだ。これから後は無産者政治に口を出すことが出來るのであり、吾々の生活を政治に織り込むことが出來るのである。そこに從來の權力者の恐怖がありまた同時に社會的變革のチヤンスがある。

國家の制度は、凡ての方面において骨化しつゝある。單なる會計形式の改善と云ふやうなツマらぬ改正でも、いやしくも革新と云ふ革新は一切困難となつて來た。況んや豫算の實質たる財政全體の組織卽ち歳出の按排、税制の根本的改革と云ふやうなことは、とても行はれ得ない時代となつて來た。が、然し、これではならぬ筈である――時代は動く、新しき政治意識をもつた新しき社會力は力づよく動いてゐるに相違ない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯局より

▼久しい事、吾々の間で評論雑誌を出す話をして來たが、フトした機會で、「大衆」として現はれた。「大衆」は「大衆」の意志を主張を勇敢に主張して、それを練り上げること、そして、それを現實の運動に效果あらしめるためにあらゆる闘ひを爲す、一個の機關紙として役立ちたい。

▼「大衆」には、各方面から種々興味深い注文がつけられた。大衆向であること、理論に偏せぬこと、運動を中心とすること、その指導原理と現實相の解説とを、また或る同志は、呉の海軍工廠の勞働者も店頭で買ひ上げてくれるなど等々……色んな形と内容の注文があつた。

▼「大衆」の創刊號は、遺憾ながらそれらの好意を寄せた同志の忠言の大部分を備へてはゐない。最初の目的であつた軟いものには今度は全く失敗してしまつた。論文の主題は、一方に、集中されて偏した趣もないではない。(勿論それが今度の一特色ともなつては居るが。)

▼けれ共、「大衆」創刊號は、全體として極めて緊張した、我國勞農運動にとつて、最も最も緊切な諸論文を以て滿されてゐる點では、いさゝか「大衆」創刊の意を強ようするものがある。

▼「大衆」は、今後、創刊號で犯した過失を補つて、勞農運動の批判、指導並に政治經濟の實際知識の研鑽、普及のために、何處までも、所謂大衆向に、平易を旨として、大衆自身のものたらしめる覺悟である。次號には、豫告にある樣に、本號に優るとも劣るまじき評論、資料その他が滿載さるゝだらふ。そして、「大衆」の眞面目を益々明かにするであらう。

▼しかし乍ら、この雜誌を手にせる同志諸君、吾々のこの計劃に好意を寄せらるゝ凡ての人々の、懇切なる御注意と激勵なしには、到底、大衆の眞の面目を發揮するには至らないだらふ。

▼創刊號の編輯を終るにあたつて、本誌のために、色々と注意を下さつたり、好意を寄せて下さつた方々に厚く御禮申上ぐると共に、未熟なる吾々のために、不斷の指導、激勵を切望して止まぬ次第である。

▼編輯同人(責任者)

大山郁夫　市村今朝藏
黒田壽男　大森義太郎
有澤廣己　山田盛太郎
鈴木茂三郎　太田嘉作

定價
◇壹部參拾錢(送料壹錢)
◇半年壹圓七拾錢(税共)
◇一ケ年參圓三十錢(税共)

廣告料
◇一等八拾圓◇二等五拾圓
◇三等參拾圓
(但し、半頁はお斷り)

大正拾五年二月廿六日印刷納本
大正拾五年三月一日發行

編輯發行兼印刷人　黒田壽男
東京市芝區新櫻田町六
發行所　大衆社
(電話銀座三一九一番)
(振替東京一六二三八番)

大賣捌
東京堂　北隆館
上田屋　東海堂

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

デボリン著　志賀義雄譯
◆ レーニン主義の哲學 ◇
定價壹圓　送料六錢

レーニン著　青野季吉譯
◆ 改譯 帝國主義論 ◇
定價壹圓貳拾錢　送料八錢

猪俣津南雄著
◆ 金融資本論 ◇
定價貳圓六拾錢　送料拾八錢

レーニン著　大木陽一郎譯
◆ 資本主義發展期に於ける 農村問題 ◇
定價壹圓五拾錢　送料六錢

稻村隆一著
◆ 農村問題の現在と將來 ◇
定價七拾錢　送料四錢

ニアリング著　角田敬三譯
◆ 大資本の制覇（アメリカ帝國） ◇
定價壹圓八拾錢　送料八錢

荒畑寒村著
◆ ロシアに入る ◇
定價貳圓貳拾錢　送料八錢

山川均著
◆ 勞働組合の進化と職分 ◇
定價四拾錢　送料貳錢

山川均著
◆ 無產階級政治運動の基調 ◇
定價四拾錢　送料貳錢

大山郁夫　長谷川如是閑著
◆ 軍事教育反對論集 ◇
定價參拾錢　送料貳錢

發行所　東京早稻田鶴卷町四七一　振替東京六七五一九番　希望閣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

豫約出版

全部十二册 一ケ年完了

短期締切 至急申込あれ

全十二册。每月一回發刊▼菊判紙裝一册三百五十頁内外▼三月中旬第一卷配布、十六年二月完了▼會費毎月拂金貳圓、全部一時拂貳拾貳圓(郵送本社負擔)▼會員に限り頒布し一部賣りをせず。

社會問題講座

是れ現代生活の指標也。明日の日本を祕めたる思想の大寶庫也。

◆◆◆◆ 趣旨 ◆◆◆◆

十九世紀が『我』の自覺時代であつたとすれば、二十世紀は『社會』の發見時代であり、創造時代である。何人も先づ此の講座によつて、現代に生きる資格を得ると共に、歷史の方向を指示する羅針盤を獲得せねばならぬ。

講話目次

總論

◇社會問題總論……安部磯雄

社會思想解說

◇ギルド社會主義……北澤新次郎
◇基督教社會主義……賀川豐彦
◇無政府主義……新居格
◇サンヂカリズム……石川三四郎
◇マルクス派社會主義
{マルキシズム概說……高島素之
{價値論……櫛田民藏
◇社會思想發達史……波多野鼎
◇日本社會主義史……木村毅

財政學

◇法律と階級鬪爭……平野義太郎
◇治安維持法其他……清瀨一郎
◇財政學概論……大内兵衞

勞働問題

◇日本勞働運動發達史……赤松克麿
◇日本勞働運動の現勢……村島歸之
◇各國勞働運動發達史 }
◇各國勞働運動の現勢 } 産業勞働調査所
◇勞働組合論……野坂鐵
◇日本の勞働事情……村島歸之
◇國際勞働問題……淺利順四郎
◇インタナシヨナル發達史……青野季吉
◇教育に於ける國家的と社會的……長谷川如是閑
◇ブルヂョアカルトプロレツトカルト……平林初之輔
◇各國勞働者教育發達史……服部之總
◇勞働組合と勞働者教育……阪本勝
◇セツルメント……大林宗嗣

社會文藝

◇無産階級文藝論……藤森成吉
◇社會と文藝……菊池寬
◇重農主義藝術論……生田長江
◇社會主義小說解說……木村毅
◇ロシヤ無産階級文學……片上伸
◇上部構造としての近代文藝……平林初之輔

特色一斑

▼學界最高の權威と新進有爲の少壯學者とを悉く網羅して、此の未曾有の大講座が遂に完成した。

▼全體が研究的進步的であつて而も一黨一派の立場に偏することはない。

▼講話は平易明快を主とし隨時隨所に日本に適切な實例を引き、術語にはそれぞれ註解を附する。

▼各科すべて歷史と理論と實際問題とを洩らすところなく包含する。

▼大原社會問題研究所・商業勞働調査所・東洋經濟新報社を始め各大學研究室及び各新聞社調査部が特に本講座の爲めに提供せられた貴重な資料や正確な統計を滿載する。

▼毎號一流大家の科外講話及び雜錄記事豐富で雜誌的興味盈溢してゐる。

社會學

◇社會學概說……高田保馬
◇人間行動の社會學……長谷川如是閑
◇日本社會史……本庄榮治郎
◇社會學史……新明正道
◇社會心理學……市村今朝藏
◇社會倫理學……淡德三郎
◇社會統計學……岡崎文規
◇共同社會と利益社會……波多野鼎

經濟學

◇經濟學概說……安部磯雄
◇經濟學史……久留間鮫造
◇經濟史……石濱知行
◇產業革命史……上田貞次郎
◇世界經濟の大勢……丸岡重堯
◇日本經濟の現勢……高橋龜吉
◇日本資本主義發達史……野呂榮太郎
◇金融論……堀江歸一
◇恐慌論……岩田義道
◇資本主義經濟と社會主義經濟……猪俣津南雄
◇社會政策……小林輝次

政治學

◇明治政治史……吉野作造
◇政治意識と政治機關……長谷川如是閑
◇政治と社會統制……大山郁夫

法律學

◇勞働法制……末弘嚴太郎
◇日本勞働法制史研究……瀧川政次郎

農村問題

◇土地國有論……安部磯雄
◇資本主義と農制問題……河田嗣郎
◇小作制度發達史概論……小野武夫
◇近世農民暴動史論……小野武夫
◇各國農民運動の現勢……河西太一郎
◇日本農民運動の現勢……杉山元治郎
◇農民教育論……賀川豐彦
◇農民と政治運動……荘原達
◇法廷に於ける小作爭議……水谷長三郎
◇社會主義と農民運動……稻村隆一

無產政黨問題

◇普通選擧と無產政黨……安部磯雄
◇無產階級と無產政黨……大山郁夫
◇勞働組合と無產政黨……麻生久
◇各國無產政黨發達史 ◇各國無產政黨の現勢……產業勞働調査所
◇農民勞働黨結黨前後……小岩井淨

婦人問題

◇婦人の自覺史……山川菊榮
◇日本の婦人運動……奥むめお
◇婦人參政權問題……市川房枝
◇婦人と勞働……野坂龍子

智識階級問題

◇資本主義社會に於ける智識階級……新居格
◇智識階級と社會運動……麻生久

社會教育

◇教育と社會……森戸辰男

其他諸問題

◇日本の人口問題……高野岩三郎
◇マルサスの人口論……布川靜淵
◇生物學と產兒制限……山本宣治
◇產兒制限の實際方面……馬島僩
◇失業問題……堀江歸一
◇兒童問題……高田愼吾
◇借家爭議の戰術……布施辰治
◇婚姻制度……穗積重遠
◇防貧問題……賀川豐彦
◇消費組合論……岡本利吉
◇勞働保險……岡崎文規
◇社會組織と新聞雜誌……早坂二郎
◇民衆娛樂……權田保之助
◇共產部落の研究……阪本勝
◇階級鬪爭史……西雅雄
◇日本民權史……白柳秀湖
◇水平運動發達史……吉井浩存
◇ロシヤ革命史……富士辰馬
◇支那の社會運動……宮崎龍介
◇英國フェビアン協會發達史……川原次吉郎
◇中產階級論……青野季吉
◇娼婦の研究……村島歸之
◇帝國主義論……猪俣津南雄
◇マルクスの國家論……河野密
◇社會主義と原始宗教……嘉治隆一
◇社會科學に於ける階級性……麻田喜作
◇社會運動家及社會思想家列傳……大宅壯一
◇科外講話……諸名家

■内容見本 申込次第進呈■

發行所 東京市牛込區矢來町三番地 電話（牛込）八〇六・八〇七・八〇八・八〇九 振替東京一七四二一 新潮社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

福本和夫氏著

社會の構成並に變革の過程

菊判箱入總布裝 二百三十頁

定價貳圓也（送料廿一錢）

最新刊

社會は如何にして構成され、如何にして變革されるか――この問題を理論的に究明することは方向轉換期にある日本無産者階級の最大關心事の一つでなければならぬ。そしてこれは我がカール・マルクスが最初資本論の全計畫中に包括されてゐたのであるが、遂にその病死のために完成されなかつた所である。本書は著者がこのマルクスの意圖に從ひ、その後の資本主義の發展と諸學者の研究とを參照して、この問題を最も系統的、統一的に解明したものであつて、實に世界的意義を有する一大研究である。該博なる考證、辛辣なる批判、獨創的なる表式の間を貫く著者の唯物辨證法的立場は冷靜至純にして而も、熱烈なる社會學徒の心琴を共鳴させずには措かない。敢へて奬む。

内容

一、序論―二、この問題が唯物辨證法的に把握せられ得るに至りし根據、條件。―三、對象と端初。―四、概觀。―五、純經濟過程。―六、國家過程。―七、意識過程。―八、國際過程―九、世界過程。―十、諸過程間の關係。―十一、要約。十二、社會の變革過程。等二百三十頁余

高橋龜吉氏著　**日本經濟の行詰と無産階級の對策**　四六判箱入クロース裝四六〇頁　價貳圓五拾錢　送料廿一錢

佐野學氏著　**露西亞社會史** 上卷　四六判箱入クロース裝四〇〇頁　價貳圓五拾錢　送料廿一錢

神田美土代町二ノ一

白揚社

振替東京二五四〇〇番　電話大手六三四三（特設三六）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

特輯號

大原社會問題研究所雜誌

—第四卷第一號—

四百頁倍大號
本號に限り 金壹圓八拾錢
送料八錢

本邦に於ける社會經濟組織の推移……高野岩三郎
マルクス國家觀の生誕……森戸辰男
私生子の問題に就て……高田愼吾
勞働組合法問題を繞る二つの經濟思想……櫛田民藏
勞働者及小額俸給生活者の家計狀態比較……權田保之助
セッツルメントの思想史的背景……大林宗嗣
ホブソン帝國主義研究……細川嘉六
「經濟學批判」の腹案について……久留間鮫造
稅制改革論批判……大内兵衞

發賣 東京神田西紅梅町 同人社 振替東京二七〇六五 電話大手五五八五番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産社パンフレット

堺利彦著　社會主義大意　、一〇

マルクス著　堺利彦譯　勞働と資本　、一五

パンネコック　堺利彦譯　社會主義と進化論　、二〇

マルクス著　堺利彦譯　利潤の出處　、二〇

堺利彦著　社會主義學說大要　、三〇

マルクス著　堺利彦譯　ゴタ綱領批評　、二〇

堺利彦著　パリ・コンミユンの話　、二〇

ロザ・ルクセンブルク著　ロザの手紙　、一〇

マルクス著　堺利彦譯　唯物史觀要約　資本蓄積の傾向　、三〇

無産社編　レーニンの生涯（寫眞）　近刊

東京麹町八ノ二〇
無産社
振替東京二四六二六

大正十五年二月二十七日印刷
大正十五年三月一日發行
（定價三拾錢）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN